

「中外」の胃腸薬

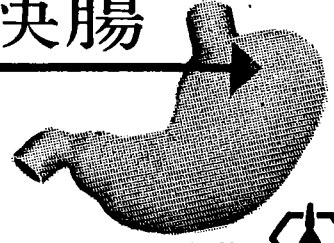
カートンで健胃・快腸

「胃の痛みや、胸やけがとれます」「食欲が増し、消化がよくなります」…これがカートンの効きめです。胃や腸の調子が悪くふとれないような方は、ぜひ

適応症：胃痛・胸やけ・食欲不振
腸内異常醗酵・慢性下痢・宿酔等

(錠剤) 52錠—100円 (粉末) 15包—100円
(散薬) 30g—100円 (24包—150円)

◎カートンの錠剤は殊にのみよく便利です



中外製薬株式会社



中外製薬



スタミナ
精がつく薬

パント錠

20錠 50錠 100錠

副腎・肝臓強化 パントテンサン製剤

Kowa

興和新薬株式会社
東京・名古屋・大阪・福岡

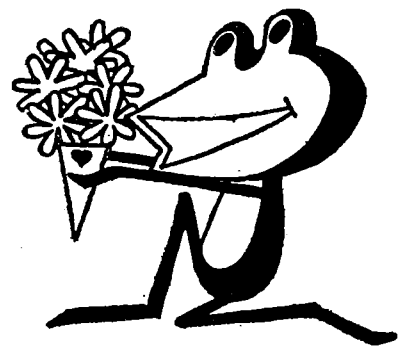
レスタミン軟膏

・ハイキングにご家庭に、
よい香り、よくのびる、クリーム
みたいなお薬です。 一〇〇円

かゆいときにはコウワの

虫にさされて ムズムズ
じんましんで ムズムズ
雑草かぶれで ムズムズ
お化粧かぶれで ムズムズ

ムズムズ病!



綿糸 鷹羽・豊福
綿布 雷鳥・富士鷹・海猫
スフ糸 銀双鷹



合織糸
タカナロン
タカビロン
タカテロン
タカサロン
タカアロン
各種混紡糸

愛知紡績株式会社

取締役社長 小杉 仁造

本社 名古屋市中区南園町2丁目4番地

電話(名古屋) 23-6171, 8681, 1121.

営業所・出張所 東京・大阪

工場 安城・名古屋・榎戸・山方

発展期へ協会方針の再検討を

誇るべき短時日の普及とその成長

昭和十三年、我国にハンドボール協会が生まれ、スポーツとしてのハンドボールが、我国に根を下ろしてから、二十三年の歳月が流れた。人間に例えるなら、ようやく成長期、成人期の境地に踏み入れた頃である。

自画自讃になるが、日本のスポーツ界で、ハンドボールほど、その普及を短時日に成し遂げたものも珍しい。技術的な面でも、年々歳々驚異的な進歩を遂げて来ている。

戦後、西ドイツ（昭和三十一年秋）ルーマニア（今夏）と二度にわたる国際試合では、勝利こそ得ることは出来なかったが、世界ハンドボール界の最上位の二チームに対して、憶することなく、堂々と対抗し、その実力の高さを内外に披歴したのは周知の通りである。

時に、今夏のルーマニア戦では、国内チームはすべて単独チームが対戦し、その結果は、三年前、西ドイツと全日本選抜軍とのスコアと殆ど同程度の開きに留めた一事は、日本ハンドボール界の実力と選手層が、決して低いものではないと云う、またとない「裏付け」になったはずである。

ハンドボールは昭和三十九年、東京で開かれる第十八回オリンピック大会に、参加を予定されている。近年の日本ハンドボール界の発展ぶりは主管者である日本のハンドボール界が、他国に比べて低調であつてはと云う危惧をもちや絶対不起させないと云ってよいだろう。それどころか、その優勝さえも狙える実力を備えつつあることは、ハンドボール界のみにその期待は留まらないものである。

十一月初旬、日本ハンドボール協会は、明春三月、西ドイツで開かれる第四回世界男子七人制ハンドボール選手権大会への参加を決定、正式に発表した。これこそ、日本の実力を内外に問い、示す絶好の機会である。

現在、各筋から伝えられるオリンピック東京大会に於けるハンドボール競技の開催は、楽観を許さぬ情報ばかりであり、ここ数ヶ月、日本ハンドボール界の全関心は、この一点に集められた感が強いが、来春の海外遠征軍にしても、国内諸チームにしても、そうした問題を切放して絶妙な努力を注いで欲しい。そうすれば自ずと道は開けよう。日本のハンドボール界は未だ二十三才である。二十三才にして早くも内外各スポーツ界と列するほどに成長、進歩を遂げた「過去」に誇りを持つべきであり、明日からの将来はその誇りを更に輝やかしいものにすべく努力をすべき期間であろう。その意味で、日本のハンドボール界の施政を司る日本ハンドボール協会の充実を切に望んでやまない。日本ハンドボール界発展への基盤は出来上った。日本ハンドボール協会は、この期に際して、改めて、その機構、方針を検討すべきではなからうか。日本ハンドボール

特にその傘下におさめる地方協会、学連、高校界などに対して充分の意をつくした検討を加えるべきであり、名実ともに日本ハンドボール協会は、これら下部組織の織りなす底辺を基にしたピラミッドの頂点に立つべく、その体制を固めるべきである。そして、オリンピック参加問題を含めたハンドボール界宿願の諸事に対処すべきであらう。

特集 ○○○○

爽秋のハンド界に拾う七つの話題

爽やかな秋風とともに、ハンドボール界もフィールドシーズン最後を飾る熱戦が東に、西に今日も繰り広げられているが、その活況を裏付けるように今秋ほど話題の多いシーズンも珍しい。そこで編集部では、そうした話題の中からいくつかを拾い出し、解説読物にして集めてみた。題して「爽秋のハンドボール界に拾う七つの話題」――

第1話

世界室内大会へ初参加

コーチ派遣日ソ交流も実現か

日本のハンドボールを海外に遠征させたい――遠征というよりも『武者修業をさせたい』というのは近年、関係者やファンが一樣にえがく夢であった。そしてその夢が来春ようやく実現することになった。もちろん球界初の遠征である。

日本ハンドボール協会は十一月四日、東京お茶の水の岸体育館で緊急全国理事会を開き、来春西ドイツで開かれる第四回世界室内（男子七人制）選手権大会に代表チームを派遣することを正式に決定した。いまのところ、世界室内選手権への参加の

ほかに西ドイツ、フランス、スエーデン、ルーマニアなどを転戦する計画がたてられている。選手団の陣容は役員をふくめ十八人いる。出発は明春二月中旬の予定である。遠征メンバーについては、四日の会議でも具体案が出なかつたし、選抜軍あるいは単独チームかも決まっていない。この問題に関しては、後日改めて協議が開かれることになつている。選考委員会が特に設けられて、この雑誌が発行されるころには、なんらかの発表が行なわれていよう。

第四回世界室内（男子七人制）選手権大会は、明春三月一日から西ドイツのドルトムント市を中心にしたベルリン、キール、シュツガルト、フライボルク、ハノヴァー、クレベルド、エツセン、フランクフルト、カールスルー、ワイズバーデン、ハーシエロックなど十二都市で決勝戦は三月十二日、ドルトムント市で行なわれる予定。主催は国際ハンドボール連盟、主管は西ドイツハンドボール協会。現在までに参加を表明している国は日本、東独、西独、ブラジル、デンマーク、ハンガリー、ノルウェー、アイスランド、ルクセンブルグ、オランダ、チェコ、ポーランド、ルーマニア、ユーゴ、スエーデン、スイス、ソ連などの二十ヶ国。このうちスエーデン（一九五八年度優勝）ドイツ（開催国）および遠隔地のブラジル、日本、アイスランドの四ヶ国は予選に出場しなくてもいいこと

第2話

七人制への関心高まる

統一実現すれば大きな影響

九月二十三、四日ベルギーで行なわれた国際ハンドボール連盟（IHF）今年度の総会に日本代表席上、世界のハンドボール界にとって革命的な提案が北ヨーロッパの一部諸国から提出された。

「一九六一年を期して、ハンドボールは十一人制を一切廃止し、七人制に統一すべきである」と云う意見がそれである。（注）この場合、七人制とは室内のみを指すのではなく、屋外、屋内共通、併用を意味する。）

同総会の公報が入手しておらず詳細は不明だが、この提案は、一

になつている。そのほかの十七国協会は地理的基準にしたがつて三チームづつの三グループと二チームづつの四グループに分けられる。

（北部）ノルウェー、デンマーク、フィンランド
（西部1組）スペイン、ポルトガ

ル、フランス
（西部2組）ベルギー、ルクセンブルグ、オランダ
（中部1組）オーストリア、スイス
（中部2組）ユーゴ、ハンガリー
（東部1組）ポーランド、チェコ
（東部2組）ルーマニア、ソ連
となつている。各グループは二回戦を行ない第一位のチームが西ドイツの世界選手権第一次リーグ戦へ出場する。すでに日本はA、B、C、Dと四グループのうちCグループに出場する事が決まつている。このグループには東部1組の勝者、東部2組の勝者と対戦する。第一次リーグ戦で各グループの一位と二位の八チームが第二次リーグ戦に出場する。

説には東西ドイツ他、数カ国を除いてはほとんどが支持の意向を示していたと伝えられ、特に北欧諸国は強硬であったようだ。フランスのスポーツ紙「レ・キップ」も大々的にこの問題をとり上げている。

最近のヨーロッパハンドボール界は、どちらかと云えばフリールド(十一人制)よりもインドア(七人制)に熱を入れており、一般の関心も七人制の方が高いようである。これは、記者の憶測だが、ヨーロッパでは、今、フリールドスポーツとしては、サッカーが全盛を極めており、このために、ヨーロッパ各国のハンドボール関係者が、ハンドボール今後の大発展は十一人制よりもむしろ七人制に、つまり主としてインドア・スポーツとしての方があると云うことに結論したのではないかと思われる。

我が国でも、昭和三十三年頃、早、慶、明あたりが、盛んに室内シーズンの再検討を唱え、室内(七人制)の普及と発展対策を慎重に考慮せよと云っていた時代があり、これは、具体化するまでに至らなかったものの、今でも一部には七人制を主、十一人制を従とする考えを強力に押し出そうとしている動きがある。いずれにしても、仮に七人制統一に決定されれば、非常に大きな問題として、日本ハンドボール界に与える影響も大きい。しかし、世界ハンドボール界の盟主として自他共に許す東西ドイツ両国が、果して、五十年に亘る伝統を持つ十一人制ハンドボールを、簡単に自ら見切りをつけるかと思えば、コトは安直に解決すると思えない。先般来日したルーマニアの役員もこうした動きがヨーロッパ各国にあることは少しも話していなかったし、今回の総会でも結論は出さずに終わったらしい。

しかし、一九六四年のオリンピック東京大会では是非七人制と云う声が強く、これは、相当具体的な縁が出されたようである。

世界のハンドボール界が七人制に対していかに熱心かを知る一つの證左として来年三月一日からドイツ(場所未定)で行われる世界七人制ハンドボール男子選手権大会へエントリーを予想される国が、過去のどのような国際ハンドボール大会の参加国数も及ばない十八ヶ国と云う数字であることでも判断出来る。日本も事情が許せばこの大会に参加したいと云うが、現在までに参加を意思表示していると云われる十八ヶ国はドイツ(東西)ブラジル、デンマーク、スペイン、フィンランド、フランス、

ハンガリー、アイスランド、ルクセンブルグ、ノルウェー、オランダ、ポーランド、スウェーデン、スイス、チエコスロバキア、ソビエト、ユーゴスラビア、ルーマニア等である。

国際連盟が、七人制を強く主張する裏には、オリンピック東京大会に出来るだけ多くの国が出場を申込み、危い橋を渡っているその採否問題に対する一つの援護政策にしようとする動きと見てよいものもないではないが、ともあれ、

多年の懸案であった実業団選手権がようやく実現の運びとなり、明い話題を投げている。

日本のハンドボール界は、戦前は学生界がその中心となつて発展し、戦後は高校スポーツ、中学体育としても成長を遂げて来たが、一般における普及は、他のスポーツに比べると、かなり立遅れており、永い間、日本のハンドボール界の今後の発展は、社会人分野への浸透如何にかかっていると云われていた。そのためには、学生リーグ戦

第3話

花開く実業団ハンドボール
広島で初の全日本大会

「ハンドボール」(季刊)
第四号目次

- 巻頭言「発展期へ協会方針の再検討を」……………(1)
- 特集・爽秋に拾う七つの話題
- 第一話・世界室内大会に初参加……………(2)
 - 第二話・七人制へ関心高まる……………(2)
 - 第三話・花開く実業団ハンドボール……………(3)
 - 第四話・消えた関東一部六校制……………(4)
 - 第五話・五輪専任コーチに荒川氏……………(5)
 - 第六話・四冠王目指す愛知紡績……………(6)
 - 第七話・芝工大四十七連勝なる……………(6)

- 実業団結成がくや談義 岡田一郎……………(7)
- 国体 愛知県完全優勝の偉業……………(8)
- 総評 意外ノ大崎、熊本の敗退……………(13)
- 室内シーズン近づく……………(14)
- 七人制の魅力をさぐる…小川 励行……………(15)
- 公算半ばの五輪ハンドボール……………(17)
- 学生界
- 学生王座・芝浦工大遂に敗る 治茂夫……………(18)
 - 東西対抗・西軍終盤に決勝点 武重……………(19)
 - 東日本・芝浦工大文句なし……………(19)
 - 西日本・関学、山口大を圧倒 尾山沢……………(19)
 - 関東・芝浦工大七連覇なる 篤杉中……………(20)
 - 関西・関学も七連覇……………(22)
 - 東海・東海は中京大初制覇……………(24)
 - 今シーズンの学生界を顧みて……………(25)

- ルーマニアチームの科学的分析……………(26)
- 海外通信……………(5)
- 国体スケッチ(911)……………(16)
 - 地方だより……………(28)
 - 話題のチーム……………(29)
 - 今月の問題……………(31)
- 楽書 評……………(16)
- 時評……………(16)
- 投書 欄……………(30)
- 質問 欄……………(30)
- 協会のだより……………(32)
- 表紙写真は国体準決勝校丘会対大崎電気の試合から大崎、竹野のシュートを校丘会、堀が強引な反則で阻む

Kがデビュー。同時に全日本を制覇すると云う強チームを編成し、男子界に一步を先んじた。

一方の男子界は、第十二回団体に広島代表として三菱レヨンが日本の男子実業団ハンドボールチームとして初めて中央の大会に出場。このチームと前後して住友化学術本(愛媛)が全日本選手権や団体に登場し、以後、関西、中国地方に実業団チーム誕生の報が相次いだ。しかし、女子の愛知紡織が、全日本総合に三連覇するなど常に大学チームやクラブチームの一段上に立つ強味を發揮していたのにひきかえ、男子チームは、全国的にはBクラスチームばかりで精彩を欠いていた。しかし、昨年春、協会が、実業団選手権の開催に本腰を入れ始めると同時に、東京にも名古屋に三菱重工、東京に大崎電気などのチームが生まれ、殊に大崎電気は、昨年四冠王を得た芝浦工大のメンバーを大量入社させ、一挙に全国屈指の強チームを編成することに成功、また三菱重工も、同じ名古屋に生れた東洋レヨン名古屋と去る九月、中部日本実業団選手権(七人制)を賭けて一戦するなど、活潑な動きを見せるようになった。

このため、協会では「全日本実業団選手権開催の機熟せり」として去る十二月三、四日広島

県下で初の大会(十一人制)が開催された。日本のハンドボール界の既成勢力である、学生界、高校界が長い年月を費して、現在のようにな姿につくせぬ苦労した陰には筆舌につくせぬ苦があり、ようやく軌道にのったとは云うものの実業団界の今後、決して楽観を許せぬものであり、関係者の努力と、既ハンドボール界の協力がなければ、順調な成長は望めない。

実業団ハンドボールの命運は来年一カ年間の活動が総てを決しそで、その意味で、三菱重工が地元の高校有力選手の入社を積極的に働きかけていると云うニュースや、東京、大阪、広島などに、東西大学のOBを中心にして、三のチームの結成が取沙汰されているなどは、斯界にとつて心強い眼りである。実業団ハンドボールの発展を望むや切である(黒尾武)

大崎電気に初栄冠

記念すべき第一回全日本実業団ハンドボール選手権大会は地元開催地の広島勢五チームを含む男子八チームが参加して三、四両日広島国泰寺高グラウンドで行なわれ、男子は大崎電気が初優勝、女子は愛知紡織一チームのみしかエントリがなかったといわれ、試合は行なわれなかった。来春改めて大会を開催するか、愛知紡織の不戦優勝を認めるかどうかは未決

定である。

▽男子予選リーグ 大崎電気(東京) 16-1 呉造船(広島) 大崎電気 20-2 淀川製鋼(広島) 淀川製鋼 9-4 呉造船 三菱レヨン(広島) 18-4 戸田工業(広島) 三菱レヨン 10-8 東洋工業(広島) 東洋工業 16-4 戸田工業

洋工業 大崎電気 9-8 三菱レヨン 三菱レヨン 12-8 淀川製鋼 東洋工業 6-5 淀川製鋼 三菱レヨン 10-5 東洋工業 大崎電気 16-1 淀川製鋼

▽同順位①大崎電気②三菱レヨン③東洋工業④淀川製鋼

▽決勝リーグ 大崎電気 10-2 東

第4話

消えた関東一部六校制 "理想"と"現実"の食い違い?

関東学連は、今秋のリーグ戦前、来シーズンから加盟校増加(千葉工大)に伴う三部制新設を決めて、公式に発表したが、秋のシーズンを終ってみたら、何時の間にか、その約定が消えて、来シーズンも現行維持になつてしまつたらしい。

その第一は、三部にしたら、三部校がリーグ戦から遠のいてしまふ、つまり辞めてしまはないかと云う危惧である。三部になつたらやめると云うのは、ふとどきな話のように聞こえるが、実は三部ではやめて行く気がしなくなるのではと云う処に遠因がある。つまり関東学連は三部まで作つても三部を運営していけないのではと云うことだ。例えば球場の問題だ。駒沢は今度さえ一杯である。この上、三部が出来たら、とても三部は駒沢では日程を組めないだらう。

となると加盟校のグラウンドを持てる他はない。自然、組織的な運営が難しくなり、天候不順などの場合連絡が円滑にゆかず、不戦で勝負が決まるケースが多くなるらう。

参加校が現在の十六校から十七校以上になつたら六・六・五の三部制にしようとする話は、二年前からあり、計らずも、来シーズンから千葉工大の加盟が内定されたために今秋のリーグ戦の結果、一部の下位二校を二部に転籍し、二部の下位四校を三部(新設)にすることを、学連の会議で申し合せ、一度確認を得たものであった。それが何

故、立消えになつたのか。考えてみれば不思議な話だがそこには学生界の現状の一端がうかがえる。問題がいくつか潜んでいるようである。

第三に、三部制にしたら、全般のレベルが何時まで経つても上らず、一部ばかり技術が先行してしまふだらうと云うことだ。学生スポーツの対抗戦に技術の優劣で階層をつけると云うのはあまりよいことではない。可能ならば十六校であるらうと、何校であろうと、総当りにすべきである。しかし、実際にはそうはいかない。せめて、許される範囲で一つのチームが多く試合を組める方法を探るべきで八校制はたしかに、そうした理論からすれば六校制よりも優先



五輪専任コーチとなった荒川氏

されるべき形態である。そうした意見がシーズン中に支配的になり、シーズン前の申し合せがホゴにされてしまったようだ。しかし、第一、第二の問題にしても、総試合は三部にした方が現行の二部八校全五十六試合と云う数より下廻るのであり、学連が、特に各校のOB連中がもう少し学連育成を心がけてくれるなら解決出来る問題だし、第三の問題については、一部六校制こそレベル向上の道であり、内容充実の最善の策であるとし、現行八校制における一部下位校の無気力を遺憾とする考えもあり、必ずしも、現実的には八校制が全般のレベル向上に役立つとはいえず、むしろ面子(メンツ)のみに頼る悪弊ありと云う意見も強い。八校制か六校制か。学連としてはアタマの痛い問題だが、関東学連が一度申し合わせをして、公式発表までしたものをシーズン中に自ら変えたことだけは釈然としない。問題の核心に触れた再検討の結果、現行維持に変えたならば方ないが「作用」は、別のところにあつたのではないだろうか。

第5話

五輪専任コーチに荒川氏 東京大会参加決定が先決

東京オリンピック選手強化対策本部の決定に基づいて、強化対策専門コーチの人選を急いでいたハン下ボール界では、十月二十五日、熊本県水保市で開かれた全国評議員会の席上、協会常務理事荒川清美(あらかわきよみ)氏を推すことに決定した。

荒川氏は、福島県出身、三十九才。戦前の日本大時代、主にHBとして活躍。好守をうたわれ、戦後は母校の監督として、その現役時代の経験と豊富な知識によって手腕をふるい、多くの名選手を生み出した。日本大がハンドボール界の盟主として理論的にも、技術的にもゆるがぬ座を築いているのは、一つには荒川氏の秀れたコーチ・ワークによって育まれた日本大OBによるところが大きく、特に体育生理学的な立場から展開するハンドボール技術論は氏の独壇場、大いにその手腕が期待される。

待される。余談だが、ローマオリンピック日本体操選手団の女子チームリーダー荒川みゆきさんは清美氏夫人である。

荒川氏は、コーチ推せん後、その抱負を「オリンピック種目に決

定することが先決問題だが、ともかく一生懸命やるつもりだ。具体的な強化構想をすでに用意しているが、概略的に云うと、東京大会までの四年間を二期に分け、第一期を強化準備期間、第二期を本格的強化鍛練期間としたい。それぞれ二年づつの予定だ。細部的には各都道府県の組織を強化して、地方大会の増加とともに優秀選手を発掘し、地方講習会も積極的にやりたい。強化の骨子となる基本方針はトレーニング方法の改良と基礎体力の充実の二点で、充分検討

して、最善と思われるモノを考えたい。スポーツ医学、生理学的な面からも役立つものほどよく用いる心算だが、これには、アシスタントがどうしても必要になってくるだろう。ともあれ、全国諸賢の理解と協力とそれに「時間」がなければ成せない大事であるのだから、調査と研究を怠らず来春までには具体的な構想を発表したい」と語った。(S)

〔註〕荒川氏は東京オリンピック強化対策本部から十二月五日付で正式承認された。

海外ハンドボール通信

▼国際ハンドボール連盟(IHF)では、九月二十三、四日の両日ベルギーで今年度の総会を開き、主にオリンピック東京大会について協議を行なった。その結果、二十ヶ国がオリンピックへの参加を意思表示した。(注・日本は書簡をもって参加を表示しており実際は二十一ヶ国となる)参加表明国は次の通り。

- ドイツ、オランダ、オーストリア、ポーランド、ルーマニア、ソビエト、スウェーデン、イス、デンマーク、スペイン、エジプト、韓国、チェコ、ブラ

ジル、フィンランド、フランス、エール、ユーゴ、ノルウェー、ハンガリー、日本

▼IHF会長ハンス・パーマン氏(スイス)はアルバート・ワグナー理事長との連名で、総会において表明のあつたオリンピック東京大会への参加表示国を主催国日本に通達、同時に、日本側の受け入れ準備についても打診した。(編集部注・日本ハンドボール協会では、この書簡を十月十九日受信すると共に、IHFFに対して「十六チーム以内の参加を認める」と回答することになった。これはポルダ

ームの常識として十六チームと云うことになったもので、参加国がこの数を超える場合は当然なんらかの形で予選が行われるだろう)

▼昨春秋、中共を訪問した東ドイツ選抜軍は今秋、二度目の中共遠征を行い、目下、各地を転戦中である。昨年は10戦全勝の成績をあげた東独も、今度は、中共のレベルが上っており楽勝が続くとは思われない。しかし、第一戦の北京陸軍選抜との試合は14対5で東独が勝った。中共は今年になってソビエト、ルーマニアに次ぐ三度目の国際試合である。

第6話

四冠王目指す愛知紡績

見逃せない会社側の理解

愛知紡績が国体(一般女子)に優勝した。八月秋田の全日本に続く、今シーズン二つ目の全国タイトルである。明春の全日本実業団と室内選手権に勝って、女子界始まって以来の全国四冠王となる

か、男子に比べて、精彩を欠くと云われる女子界にとって愛知紡績の強さを巡る話題はたしかに一際光彩を放つものであろう。

愛知紡績は昭和三十三年、部を創設した。愛知紡績の所属する愛知県はもと日本のハンドボール王国。しかしそれにして愛知紡績のデビューは鮮やかだつた。

結成一年にして愛知紡績が全国優勝を遂げたのは、その前年、つまり第八回全日本総合選手権で半田高(愛知)が優勝したのと大きな関連がある。

すなわち、その第八回大会の半田の優勝メンバーの大半がそのまま愛知紡績に入社したからである。今春、男子で大崎電気(東京)が四冠王の芝浦工大の新卒業生を中心にデビューして一躍全国のA

級チームとなつたのは当時の愛知紡績のケースとよく似ているわけだ。

さて、結成当時の愛知紡績のメンバーは半田高で優勝主将となつた則武のぶ子選手がそのまま愛知紡主将となり、以下瀬川、滝本、桑山、黒野、と云つた半田高優勝の原動力が愛知紡績に入社したわけである。

愛知紡績がハンドボールを始めた動機については、「社長が以前からスポーツを愛好し、スポーツマンシップによつて職場の空気を明るくすると共に、職場の士気を少しでも揚げようとする考えを持っていたからで、会社のPRと云うことは第二義的なものであつた。また、社長と半田市長、半田高校長が親交のあつたのも一つの動機である」(現愛知紡績責任者外山正夫氏の話)と云うことになる。

こうした動機で創立しただけにチームに対する会社側の理解も大きく、大会の前は、午後三時には仕事を終えて毎日日没まで林藤吉

氏をチーフコーチとして猛練習を行つており、毎年五月のシーズン始めには、定期的に茨城を中心にした北関東遠征を行つて、そのシーズンの力試しをしているほどだ。しかも、毎年新人の補強も怠らず、昭和三十三年春には現主将のF.W.沢田、昭和三十四年春には現メンバーの主力たるG.K.野崎、B.山崎、F.W.磯部、青木らがいずれも半田高から入社、今春は水海道二高(茨城)から宮本、塚原の両バックスと那賀高(和歌山)からG.K.敷内を加えており、王座の堅持に万全を期している。こうした努力が続く限り愛知紡績の全日本制覇は、対抗馬の少ない日本の女子ハンドボール界ではおそらく、これから先数年間は続くだろうし、それだけに、斯界初の「四冠王」と云う最高榮譽を独占する偉業を目前にした今年は宿願の全日本室内タイトル目ざして、例年以上に会社も、チームも熱を入れている。

愛知紡績の強さを評して、高島協合理事長は「セット・プレーの上手さが第一だ」と云い、荒川清美氏は「秀れた脚力が総てである。母体となつている半田高が、もともとセットプレーを得意としたチームで、その連中が愛知紡に入つてそのプレーを円熟させるのも見逃せない」と云う。またチームの初代主将

だった則武のぶ子さんは「全員得点力が平均していることが他チームより秀れている点だ」とその得点力の強さを強調する。そう云えば先日の東海選手権でも白梅クラブ(岐阜)を相手に38点と云う記録的なスコアをあげているし、創立以来、公式的な大会での敗戦は四回(大阪寝屋川クラブに二敗、半田高熊本クラブに各一敗)と云う記録も肯ける。

こうして、何もかも順風満帆なこのチームにも不満がある。それは、日本に女子の実業団チームが少ないと云うことだ。強いては、それが何時までも女子ハンドボール界を陽の当らぬ場所においておく原因だと云う。その通りであ

る。女王の座を守りぬく愛知紡績の実力は偉とするものであるが、しかし斯界の発展は愛知紡績の独走が続いている間は望めない。愛知紡績の堅城をゆるがす強者の出現こそ待望されるものである。そして対抗馬の登場を自ら口にす愛知紡績の自信と誇りは、今や立派にチーム創立の意義を叶えた

と云つてよい。

全国四大タイトルの独占を目指す愛知紡績は恵れた環境におかれ会社では、資材、原料、庶務などの仕事をもち、社会人としての成長も遂げており、ともすれば、会社のPRを第一義とするような日本の実業団スポーツ界にあつて、理想的なコースを歩んでいる。今後の健斗を祈つてやまない。

第7話

芝浦工大47連勝なる

王座戦で関学がストップ

芝浦工大は十一月十二日名古屋

で開かれた第四回全日本学生王座決定戦東日本予選で東北学院大を24-5、地元の中京大を24-9で連破し公式戦に47連勝を記録した。しかし二十三日(西宮)の王座決定でついに関学に12-11で屈し50連勝への夢は消えた。芝浦工

大47連勝の後を振り返ってみよう。

芝工大は昨年七月のインターカレッジで同志社大を破つてから全日本総合二回、全日本学生二回、全日本学生王座二回、全日本室内一回、関東学生リーグ三連勝とむかうところ敵なし。文字通り天下無敵の快進撃を続けてきた。

(芝浦工大が連勝記録を伸ばすことにいつも同志社大が引き合いに出されるのは全くもって気の毒だが……)

マ……ことしの芝浦工大は昨年のチームと比べてみると必ずしもよくなつたとはいえない。宮原(俊)宮原(藤) 黒沢などスター・プレー

日本にもようやく実業団ハンドボールが芽生えて来た。しかし、実業団球界は歴史のある学生界、実績のある高校界に比べたら、総ての面で苦しい立場におかれている。そのチーム造りさえも容易ではない。そこで実業団チームの実情と将来の道を新三菱重工(名古屋) 監督、岡田一郎氏(慶大OB)に特別寄稿願った

毎号本誌にその目ざましいスパイクの跡を印して行く大崎電気チーム……私は同じ実業団の一員としてその感服の如きデビユーをお慶び申上げ亦その快調の進撃に惜しみない拍手をお送りする。

と同時に同じ実業団球界の一員として、壮々たるメンバーによる大崎電気のようなチームが一朝一夕では生れないにしてもや地方在往のOBではしても出来ない。

しかし実業団チーム結成の志は止まる事知らず私は先づサッカー部を作る事が第一歩となつた。四年前の事である。(サ

ーヤが抜け、スケールも小さくなつていた。だからシーズン前の予想では芝浦がこんなにはやると思つていなかった。関東学生リーグでも明大、中大に大きな期待をかけたのだが、この二チームが鳴かず飛ばずの態。これが芝浦の連勝を伸ばすひとつの因となつた。も

サッカーの方が競技人口も多く第三者の理解も早いを利用した様な事になつたのは少々残念ではあるが……)

サッカー部が出来るとようやくゴールポストとゴールネットが体育施設の一部となる。このゴールをハンドボールに流用すればよい。ポーンナスでボールを買い一人

うひとつの因は選手自身のファイトである。練習につく練習、先輩が残したこの記録を少しでも伸ばそうとする気持があつたし、先輩に負けたくないというものすこい意欲がみのつたのである。だからわたしは他力本願とはいわず、自力で勝ちとつたといいたい。

ここで教育担当者にハンドボールが如何に体育教科として適切であるかを売込む事にした。曰クハンドボールは

バレーより勇壮で男性的でサッカーより上達が早くラグビーより事故は少なくしかもサッカーのゴールを利用

マ……芝浦工大にも苦しいゲームがあつた。春のリーグ戦で慶大に7-6でやつと勝つた。少なくともハンドボールを知るものにとつては、意外だったし、17-6の誤まりではないかと思つたに違いない、それほど苦しいゲームだった。日体大には13-10でやつと勝

に長かつた。しかし卒業して、OBとなつた皆様が、自己の職場で一寸運動神経の発達した若い人々を集めてチームを作ることは熱意次第で必ず出来るよう。

しかも七人制ハンドボールは比較的人間も集りやすく、コートもせまくて出来る利点もあり、吾々実業団としてはむしろ七人制に重点を置く方が充実も早いのではなからうか。

バスケットには華麗なパスワークによつて表わされる動の面とゴールインのボールがネットをくぐる瞬間の静の面がある。美しいが、この静の面は力量感に乏しい。しかし七人制ハンドボールは云々なれば動的面の連続であつて、このスピード感こそは時代感覚にマッチしたものでと云つては我田引水だらうか

駒沢に、西宮に、汗と泥にまみれて戦つた各校OBが職場でチームを結成して一堂に会する時こそ、実業団ハンドボールは美しく結果するだらう。戦い終つて旧友と杯をあげる楽しみを夢みて、職場チームを作らう……

出来るから施設費はただである。云々……(ああ他の競技団体の方より許されよ!) 必死の宣伝は成功し遂にハンドボールは体育の課目に採用され、中卒の部員も集つた。だから当社チームは十六才の丸刈坊やから卍息子までのパラエティに富んだ編成である。一口に云えばただけだが、結成までの四年間は実

実業団結成がくや談義

三十息子から十六坊主まで

岡田一郎

でシュートを続けながら同好の士をつつた所 大学OB2名、高校OB1名が名の上げ小生を含めて四人の経験者が集つた。あとは部員を集めれば良い……。

幸い当社には技能養成工制度があり中学卒業生が年々入社する。三年間工業高校程度の教育を施すが中には体育もある。そ

出て来るから施設費はただである。云々……(ああ他の競技団体の方より許されよ!) 必死の宣伝は成功し遂にハンドボールは体育の課目に採用され、中卒の部員も集つた。だから当社チームは十六才の丸刈坊やから卍息子までのパラエティに富んだ編成である。一口に云えばただけだが、結成までの四年間は実

つている。七月のインカレでも準々決勝でまたも日体大に苦戦し15-14と1点差、準決勝の関学戦でも11-9、八月の全日本総合(大曲市)の決勝では先輩の多い大崎電気と対戦し後半わずか1点しかとれず8-8で延長戦となる始末だった。延長戦で佐藤の大活躍でとにかく優勝できたわけだ。此のリーグ戦にはルーマニア戦で身につけたこまかいワザで楽勝の連続だった。

マ……苦戦したあとの勝利というのは実に味わいのあるもの。芝浦は練習量の多いこと、チームワークのよさ。これが芝浦のお家芸である。チームワークのいいというのは三浦部長、高島監督、中沢コーチの三人のカゲの力も見がせない。芝浦をあまりほめると他の大学はやきもちを焼くかもしれない。しかしそれは芝浦があまりにも強いから仕方がなからう。

芝浦の天下」といわせておく方がむしろ不甲斐ないのではないか。早大、慶大、明大、日体大あたりの名門がもつと奮起しなければならぬ。とくに早慶両チームにいたい。その慶大が二部に転落したのだから話にならない。アマチュア・スポーツは早大、慶大が強くない限り、そのスポーツの伸張はあり得ない。芝浦は関学の斗志に一敗地にまみれたが芝浦時代が去つたわけではない。

愛知県

桜丘会・愛知紡
中京商・半田高

完全優勝の偉業

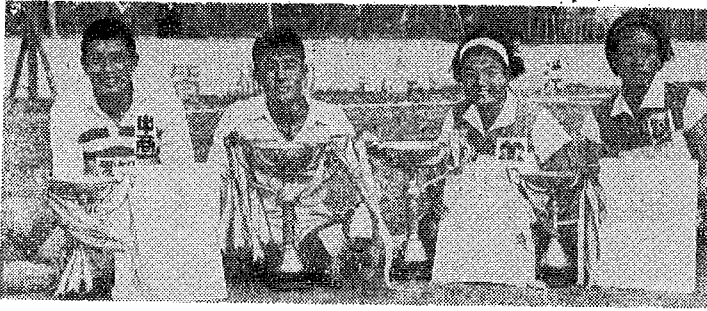
第15回国体ハンドボール競技終る

高校男子優勝の中京商チーム



高校男子

第十五回国体体育大会は十月二十三日から熊本県下で行なわれ、ハンドボール競技は一般男女、高校男女の合計五十七チームを集めて水俣市浜公園グラウンド他で行なわれた。高松宮妃殿下の御来場や地元の熱のある声援でかつてない盛会となったが競技面でも愛知県が四部門に優勝と云う快記録を作り、話題を呼んだ。



優勝チーム左から中京商の近藤、桜丘会の浅野、愛知紡績の沢田、半田高の磯部各主将



▽高校の部男子一回戦
徳山高 14-4 水戸工 (茨城)
山口 14-4 山形東高 (山形)
明石高 14-1 大宮高 (埼玉)
安積高 9-8 埼玉高 (埼玉)
盛岡一高 12-11 富岡高 (群馬)
塩山高 18-8 北佐久農 (長野)
山梨 18-8 岐阜山高 (岐阜)
盈進商 14-10 函館中部 (道)
(広島) 高道
神代高 13-10 甲南高 (鹿児島)
和歌山商 16-11 鹿兒島 (鹿兒島)
(和歌山)
伏見高 16-15 氷見高 (富山)
京都市 16-15 湯沢高 (秋田)
坂出工 (香川)
▽同二回戦
清水市商 15-3 徳山高
(静岡)
明石高 13-6 新居浜工 (愛媛)

盛岡一高 9-8 寝屋川高 (大阪)
中京商 11-5 神代高 (愛知)
伏見高 17-6 安積高
和歌山商 7-2 坂出工
【一、二回戦から】八月の全日本高校で活躍した小松実業(石川)や桜台(愛知)は姿を見せなかつたがこの大会には新たに盈進、鹿兒島甲南、水戸工、徳山、富岡高、山形東高ら加わり、夏の大会に劣らず一回戦から好試合が多く、二回戦で早くも前回優勝の鎌倉学園が敗れる波乱があったはか夏の大会の三位だった大阪の名門寝屋川が盛岡一高に降った。盛岡の健斗は、最近の東北、特に岩手球界の躍進を示すものである。

全国的な大会に初登場の山形東高は攻守に未だだったが、今後の奮起を待ちたい。(鶴尾)
▽同準々決勝

明石高 12-5 熊本市高
速攻を得意とする明石高は終始早いテンポのパスワークで熊本のバックスをかく乱。熊本も後半CF清原のシュートが決まり出して反撃に出たが、明石もCF前田の巧技で加点、制勝した。(藤田)
清水市商 7-5 盛岡一高
好調盛岡は強者清水によく食いつたが、L増田以外得点力が乏しく、前半、山田、吉田のコンビで得点し優位に立った清水が辛うじて逃げ込んだ。清水はシャープなプレイが少なくよい出来ではなかった。(杉山)

中京商 16-9 伏見高

攻守に洗練された中京商順当の勝利。しかも常に大量リードを続けながら六人防禦を守っていたのは偉い。きびきびした誠実味のあつるプレーは日頃の技心両面のたんのしからしむところで高校生らしいマナーも賞されよう。一方の伏見は、バックスのプレーが荒く自ら危機を招き、攻めても単調な五人攻撃を繰り返していかんともしたがたかつた。(井上)

盈進商 10-7 和歌山商

両チームに技術の差は認められなかつた。氣力が勝敗を色分ける結果となつたが、敗れた和歌山商も後半6対6と同点したあたりでもう一息の氣力が欲しかつた。盈進は前半L I 諏沢、後半R I 正木とインナーがよく働きFWのまつまりは秀れていたが、バックスのプレーはもう少しフェアであるべきだろう。(今村)

明石高 9(4-4)8 清水市

【明石】村北井田部藤末田山本
西宮藤桜数人佐森前栗杉
【清水】辺藤部間島城章川田康川
渡齋服風向宮柳石山柳吉

両チームともダブルヘッターのためか疲れが見えたが、そうなる技術よりも体力の試合。明石は

LW杉本のシュート力が冴え、パスワークによってチャンスをつかみ、シュートの三分の二を杉本に射たせる策が成功、杉本も期待に応えて七点を叩き出し勝利を得た。一方の清水もLW吉川が同じようによく働いたが、個人プレーに頼りすぎていたよう、やはり、あくまでパスプレーで勝負に出るべきであつた。(山田)

主要試合戦評担当

山田計、松本重雄、藤田信義、狩野幸介、井上元二、今村孝二(以上大会審判員) 篠尾武治(共同通信社)、杉山茂(NHK) 敬称略、順不同

中京商 15(9-4)7 盈進商

【盈進】井藤藤原岡田藤木 沢松
金村佐之 杉野近正 諏高
【中京】本島田田築川田野田谷藤
奥葛吉石都石金坂森深近

実力は中京商が総てに一枚上、順当な結着を見たが、試合途中しばしはエキサイトして主審から注意を受けていた両チームのマナーは感心出来ない。若い張切つたプレーと乱暴は自ずと区別されるべきもので、後者の場合は敢然退場を命じてよいのではないか。準決勝にしてはその点、いただきかねる内容だつたのは惜しまれる。

S得 0000000100032205

田井藤田岡原藤井 沢松木木
金村佐野石杉近酒 諏高(佐正)

GK FB HB FW

【清水】 辺藤部間島章川田康川
渡齋服風向宮柳石山柳吉

S得 01000007454411

△高校男子三位決定戦
盈進商 11(7-2)9 清水市

盈進は前半正木の14メートル・スローの失敗から清水の反撃にあつて苦戦した。だが後半正木を中心としてじっくり攻めた。三本の14メートル・スローのうち二本を決め、さらに高松が左サイドからジャンプ・シュートして清水を抑えた。清水は速攻一本ヤリで攻め抜いたが肝心のゴール前でスピードが止まり凡ミスを重ねた。また強風を利用するロング・シュートを使わなかつたのが敗因だつた。(共同通信社 松見満夫)

△高校男子決勝
中京商 12(5-2)5 明石

中京の持つスピード、技術は抜群だつた。とくにFWの突進力はすばらしく、ちょうど芝浦工大F

2511

反則 2

14

9.32

S得 000000061650000

【明石】 村北井田部藤末田山本
西宮藤桜数人佐森前栗杉(宮)

GK FB HB FW

【中京】 本島田田築川田野田谷藤田
奥葛吉石都石金坂森深近(柴杉)

S得 000000061411210

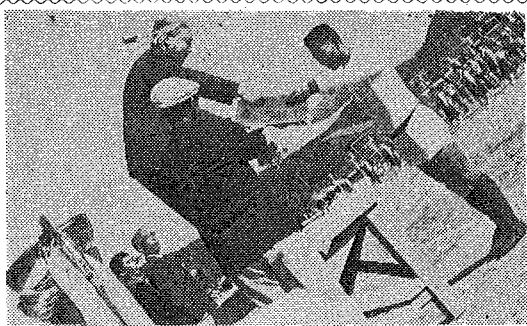
285

反則 1

14

1236

国体スケッチ



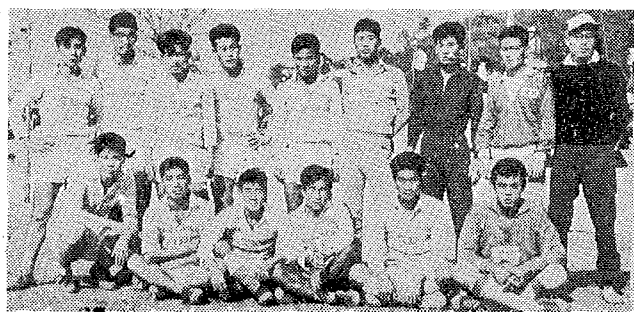
◎十年選手

村田 両氏表彰

Wを小さくしたようなものであつた。ゴール前の低い三角パスで相手のバックスを前におびきよせてかく乱するあたりは大したもの。

とにかくインナーハイで優勝した。中京商の総合戦力はすごい。関西の学連でもこの中京商に負けるチームが恐らくあると思う。

国体ハンドボール開始式で十年選手が式場会長から表彰された。大阪クラブの村田弘選手(36歳) 中出盛雄選手(36歳)の二人。
△村田選手 日体大出身。現役時代からCFとして活躍、大阪の豊中高一堺高を経て現在三國ヶ丘高校の先生。大阪府ハンドボール協会の理事として球界のために努力している。第一回大会から連続十五回出場。
△中出選手 日体大出身。現役時代から名FBとして有名。大阪寝屋川高校に勤務するかたわら同校の監督として女子ハンドボール界の名門をきびきびあげた村田選手と同じ球歴を持ち大阪府ハンドボール協会の理事。



一般男子

▽一般の部男子一回戦
全仙合 12-10 富山クラ
(宮城) プ(富山)
全く互角の力の両軍は数度タイ
スコアとなる熱戦。しかし、後半
45分から全仙合はよく頑張つて2
点を連取、振り切った。両軍とも
あまりにも個人技にたよすぎた
ことは今後の練習で是非解決すべ
き課題だろう。富山はバックス
に無用のフアールが多かった(井

写真一般男子優勝の桜丘会チーム

住友化学菊 15-15 全岡山
本(愛媛) (岡山)

延長を行うも勝負つかず抽せん
で住化菊本の幸運勝ち。

▽同二回戦

大阪クラ 23-8 全仙合
ブ(大阪) 函館サン

熊本クラ 13-11 大(道)
ブ(熊本) 大(道)

北対南の戦力は五分。函館はベ
テラン皆川がマークされ動きを封
じられたためにFWの廻転が鈍り
この策戦は巧者を揃えた熊本らし
かった。後半戦における熊本のFW
はしばしば両サイドからのシュ
ートが成功して点差を開いたが、
面白味に欠けた試合で、特にポ
ールを対象としない動作が両軍バ
ックスに共通して目立った。前回二
位の函館は予想を裏切つての早期
敗退である。(山田)

大崎電気 22-11 住友化学
(東京) 菊本

【住化】 崎室田本橋井山藤野井
宮田上島菊高夏北伊中松

【大崎】 GK FB HB FW ST
野森橋上沢井俊山藤上野 37 反則
原原原原原原原原原原 26

【大崎】 全国的な大会で実業団同士が顔
を合わせたのは日本ではこの試合
が初めて。記念すべき一戦であ
つた。しかし内容的には一方的に大

崎電気がおしまくり、竹野の7
点、宮原(俊)井上の各4点など
住化バックスを蹂躞した。住化
はCF伊藤がよく一人6点をあげ
たがウイングが精彩を欠き攻守に
スケールの差を暴露した。両軍併
せて33反則と云うのは近頃珍しく
少ない数でこころあたりにも、実業
団同士の特長が見られた。(杉山)

▽一般男子準決勝
桜丘会 23-9 大崎電
(愛知) 21-11 京(東)
51-3 20

【評】 事実上の優勝戦、延長のすえ桜
丘会が勝った。だが勝つたとい
うよりも勝たせてもらったとい
方がよい。それは大崎電気宮原
(俊)が前日の住友化学菊本戦か
ら右足のスジを痛めて欠場したか
らだ。もし宮原(俊)が出場して
いたら完全に大崎電気の勝利だ

【桜丘会】 山 井角齋豊服牧稲浅高(宇
堀 藤井藤島部野熊野村原野)
田 藤井藤島部野熊野村原野
0000001303511000
00000174131127000
0000000000000000

【大崎】 GK FB HB FW ST
野森橋上沢井嵐山藤上野 40 反則
原原原原原原原原原原 14
今高村黒高五中宮井竹宮 2064
00003150512990
00002010133310290

た。それでも大崎は竹野、宮原
(藤)井上、中山とこの四人が予
想以上に走り回り桜丘会FWと対
等に試合をした。前半は高村ひと
りにかき回されシュート9、得点
5は大崎にとつて痛手だった。大
崎にボールが回ると高村は急いで
バックスにはいりデフェンスを固
める桜丘会の作戦はみごと。浅野
のフェント、高村のシュートはさ
すがの大崎バックスも手を焼い
た。宮原(俊)のアナは竹野が一
人二役で補ったが、前半シュ
ート11でわずかに2点しかあげられな
かったのはなんとしても物さびし
かった。

延長前半はまず一分三〇秒に高
村のジャンプ・シュートで桜丘会
がリード。8分に宮原(藤)が中
央に決めて1-1。10分高村が14
メートル・スローを左に決めて前
半を終った。後半は高村、浅野が
ともに14メートル・スローを失敗
したが、浅野が二本きれいに決め
て2-0、大崎も竹野が連
続2点をあげてまたも2-
2。高村がゴールすれば大
崎も宮原(藤)がクリン
・シュートして3-3。手
に汗をにぎる大接戦を展開
した。8分浅野が大崎バ
ックスをうまく抜いて右サイ
ドから左スミにゴールして
4-3、つづいて9分高村
がダメ押し点をいれて大崎

の反撃をみごと断ち切った。大崎
バックスは高村にゆさぶられ、逆
に竹野は桜丘会バックスに押えら
れていた。桜丘会GK山田の好守
は見のがせない。桜丘会CH齋藤
はこの試合で上クチビルを切っ
た。(鶴尾)

大崎電気 22-11 住友化学
(東京) 菊本

大阪ク 20 6-18 熊本ク
4-2 2-2 18

タイムアップ寸前熊本は幸運
にも14メートル・スローを決めて
延長戦にもつれ込んだ。大阪クラ
ブは日向、富川、今西、村田とい
ったベテランぞろい。熊本は井
(中大) 榎木(中大) で固め試合
の内容はよかった。この試合は熊
本の善戦といった方がピッタリす
る。それは榎木は最近まで関東学
連の役員をやっていたので練習量
も少ない。それにもかかわらず6
点をあげたのは立派だった。しか
しオールラウンドプレイヤーの井
をあまりにも酷使しすぎて疲労さ
せたことが熊本の敗因といえる。

延長にはいつてからの井は鋭さが
なかった。大阪は村田の好リード
とバックスの中出、東が熊本FW
をつぶし、GK光島の好守も光つ
ていた。(鶴尾)

▽一般男子三位決定戦
大崎電気 22(1210-2) 熊本ク
気 ラブ

◇宮原(俊)を欠いた大崎ではあ
つたが、スピード、パスワークな
どすべての点ですぐれていた。熊
本は前日の対大阪戦にみせたスピ
ードなく大崎の厚いデフェンスを

高校女子

▽高校の部女子一回戦

栃木女高 6-2 新居浜東 (栃木) 高(愛媛)

富山女高 12-6 函館東高 (富山) 北(北海道)

▽同二回戦

熊本市高 6-5 栃木女高 (熊本)

▽同準決勝

半田高 14(5-14) 4 涌谷高 (9-10)

【半田】木内山川島内木藤野

正森小早小竹磯青伊小

GK B FW 交代

ST 反

32 19

【涌谷】形間津木野藤村木田場

尾浅沼佐中佐川佐八木

GK B FW 交代

ST 反

32 8

【熊本市】橋田倉立山田原成田

倉池名広峰北館大原

GK B FW 交代

ST 則

15 26

【井原】美野永田田松八原松田

蓮村

GK B FW 交代

ST 反

32 34

【熊本】西八徳清石久西篠岡岩

村

GK B FW 交代

ST 反

つた半田は速攻によるパスワークと得点への結びつけが上手く、伝統のセットプレーがよく浸透されていた。明善はリードされても元氣をおとさず一点差にまで詰めよること五度び、その粘りは賞されよう。明善としては攻撃ペースをもう少し考えるべきであった。(松本)

▽同準決勝

半田高 14(5-14) 4 涌谷高 (9-10)

【半田】木内山川島内木藤野
正森小早小竹磯青伊小
GK B FW 交代
ST 反
32 19

【涌谷】形間津木野藤村木田場
尾浅沼佐中佐川佐八木
GK B FW 交代
ST 反
32 8

【熊本市】橋田倉立山田原成田
倉池名広峰北館大原
GK B FW 交代
ST 則
15 26

【井原】美野永田田松八原松田
蓮村
GK B FW 交代
ST 反
32 34

【熊本】西八徳清石久西篠岡岩
村
GK B FW 交代
ST 反
32 34



国体スケッチ

◎熊本市立高の名コンビ

試合前に熊本市立高校のキャプテンの西村美代子ちゃんに「調子はどう?」ときいたら熊本の方言で「よかです」という。そしてニコニコと白い歯をみせて笑う。かわいい肥後女性である。「写真をとるから……!」といたら「こんなまっ黒な顔ですタイ」とまた笑う。なにをきいてもエビス顔。名キーパー、あの小さな体でと感心するほどうまいプレーをみせた。FWの西村八千代ちゃんとは大の仲良し。どこで会ってもこのコンビ八千代ちゃんは美代ちゃんよりコート周囲は三重の人垣。この声援に熊本はかえって固くなったか前半はシュートに無理が多く峰山を中心としたポストプレーで着々と加点する井原の試合運びと好対照を見せた。しかし、後半になると西村(八)が当り出し、疲れのみえた井原を守勢に追いやり延

も背が高い。右手首の包帯が痛々しかった。「小指のところが脱ぎゆうしているんで痛いですよ。」と体に似合わぬ弱気でもゲームになると人が違ったようにものすごいダッシュ。攻撃のエースが八千代ちゃん。守備のエースが美代ちゃん。すばらしいコンビだ。国体開会前に熊本市立高校を訪れたとき、南国の強烈な日射しをうけて全くまっ黒だった。これは練習量の多い証だ。監督の北川先生もこの二人に大きな期待をかけていたが、残念なことに決勝で負けてしまった。しかし、いいプレーヤーだった。(国正)

長とし、その後は体力の差を見せつけて押しまくった。井原は交替メンバーの廻転を上手くして前半の優位を保つように策を立てるべきではなかったらうか。(杉山)

▽同三位決定戦

井原高 7(5-13) 3 涌谷高 (2-10)

破れず、GK今野の好守で手が出なかつた。大崎FWは実によく走り、ゴール前のルーズプレーは全くうまかつた。竹野、井上、宮原(藤)のFWトリオで実に16点をかせいだ。熊本で光っていたのは榎木、田中、緒方の三人(鴛尾)▽一般男子決勝

桜丘会 16(6-19) 14 大阪(愛知) (10-15) 14 ラブ

(評) 大阪は前半ポストプレーを主にして左右によくボールを回し、愛知のバックスをふり回した。愛知は浅野のフエントからのパスで攻撃は一進一退を続けたが、大阪FWのシュートは完べきで9-6とリードした。後半になると愛知は2点を先取して食いきがり、24分服部のシュートで14-14と追いついた。このあと28分、29分に連続ゴールを決めてみごと大阪を押しえた。大阪は後半パスが少なく、ドリブルにたよりすぎたのが悪かつた。だから愛知の激しいデフェンスを突破できなかったのが大きな敗因。(荒川清美)

得S 【大阪】 000000044044
0000010611499
000000521231
1436

【桜丘会】 山 伊角宇(斎豊服牧稻浅高) 堀 津
GK FB HB FW
島月出川藤 向田辺江西中
光望中富佐 日村渡深今(村東)

25 反則 38 4016

浦谷はやや疲れ気味。一方の井原は昨日強敵熊本をあと一歩まで追込んだ好調と全日本高校三位と云う自信があり、その差がそのままスコアになって表われた。(鷺尾)

▽高校女子決勝
半田 8(4-2) 7 熊本市

得 0 0 1 5 0 0 2 0 0 0 0
S 0 0 1 1 2 2 2 7 0 0 0 0

【半田】 木内山川島内部木藤野
正森小早小竹磯(青伊水)

【熊本】 (美)野永田川松(八)永松田
西小徳清石久西(篠岡岩)

(評) 夏のインターハイ決勝は熊本が7-6と1点差で半田に勝っている。高校女子のトップレベルにある両チームの対戦は実におもしろかった。しかし半田は常にもリードをまもり通して熊本との連勝をくいとめて初優勝した。半田のセットプレーといいい速攻といいい、若さを十分に生かしこしと最高のプレーをみせた。熊本はエース西村(八)が右手の小指を脱ぎゆりし

ており見る方が痛々しかった。シュートしてもボールの押えが十分効かないためボールはすべて浮いていた。ボールの離れが早いわけ

だ。西村(八)はよくがんばり、この試合でシュート18、得点5を記録した。半田は徹底的に西村(八)をマークしたのがよかった。さらに熊本が四人攻撃だったので十分防ごうとできたわけだ。後半熊本が追いつめて1点差になってグラウンドを沸かせたが、前半の失点をばん回できなかった。熊本は半田の早川をマークしたが、しばしばはずされていった。熊本GKの西村(美)はピカ

ー。半田FWといいい、熊本FWといいい早い動きはよかった。(鷺尾)

声援空し地元熊本

高校女子戦で決勝に出したから地元の高援も一段と熱が加わった。超満員の観衆はボールが熊本側にわたると一瞬の動きに大変なかん声を上げ、取材に動く新聞社のカメラマンが前に立ち止ろうものならドナリつける勢い、しかし勝利は熊本市女高にははずれず、遠来の愛知勢が握った。地元ファンはガツカリしながら、そこは「熊本国体」指導のよさ? 勝った半田高にも惜しみなく拍手を送ったが熊本市女高の選手のあるお母さんは「ここまで勝ち進んだのだからと、優勝などの欲は持たない」とも、手汗を握った。選手の動きと私どもの体がいっつの間にか一体となっていた。こんな気持になったのははじめです」と語るようにひきあげて行った。

スポット

一般女子優勝の愛知紡チーム

一般女子

▽一般の部女子一回戦
富山女高 7-2 徳山クラ
OG (山口)
新居浜 10-4 函館フレ
(愛媛) ツブ(道)
▽同二回戦
寝屋川ク 8-2 富山高O
(大阪) G
日体大 9-6 明善クラ
(東京) プ(福岡)

前半は一進一退で寺崎を中心とした明善、小林を主力とした日体とも持味を活かして接戦だった。



しかし、後半になると日体大の練習量が明善を上廻り、時間の経過とともに差がついた。明善は後半、疲れを読んだの対策を考えべきだったろう。(鷺尾)
熊本商大 12-7 浦谷高O
ク(熊本) G(宮城)
愛知紡績 19-2 新居浜ク
(愛知) ラブ
▽同準決勝
愛知紡績 15(9-4) 7 日体大
績(6-3)

【寝屋川】和口原原崎邦井井岡村
大森梶桑宮大菅松高
GK B FW 交代
田宮岡出池 原田武
【熊本】 早弥松井今 浦内安
開 閉
【愛紡】 崎崎本原部木田田美内
野山宮塚磯青沢山新敷
GK B FW 交代
田多田木上林塚沢橋
S T
反 則
27 17 32 10

女子界のNO.1愛知紡は常に試合を進め、着々と得点を重ねていった。一方の日体大はコンビネーションが悪く、当然とも云える結果に終わったが、その割にはシャープなシュートが活かされていた。しかし、余裕のある愛知紡は後半は若手に繰り出し薬勝、明日への余力を貯えるほどだった。(熊本)

▽同三位決定戦
熊本商 7(3-1) 5 日体大
大ク 4(1-1) 5
前半日体は速攻が成功したが、後半は逆に熊本のパス攻撃が牙え、今池の好プレーが連続して逆転勝ち。(鷺尾)
▽一般女子決勝
愛知紡 3(1-1) 2 寝屋川
クラブ
両チームとも実力充分。女子最高のゲームとなった。前半は寝屋川が大西(邦)、桑原とよくパスを廻し得点、熊本も梶、井手とよ

戦。前半は速攻の応しゅうで少しのスキもなかった。両チームのGKはよかった。とくに寝屋川の大西(和)のカンのよいこと。愛知紡のFWは強力、寝屋川は大西(邦)一人で愛知FWとぶつつかっていた。愛知紡のFWは実によくコンビがとれ磯部 沢田、塚原の三人はすばらしかった。名門寝屋川对新興愛知紡決戦にふさわしかった。結局は1点差で寝屋川は3連勝の夢は破れた。負けても悔いのない一戦だった。(鷺尾)

府県別順位

- ▽天皇杯順位 ①愛知 ②熊本 ③大阪 ④東京 ⑤宮城 ⑥兵庫 ⑦福岡 ⑧広島 ⑨岡山
▽皇后杯順位 ①愛知 ②熊本 ③宮城 ④大阪 ⑤岡山 ⑥東京 ⑦富山 ⑧福岡
- ▽ハンドボール競技得点順位
①愛知40点 ③熊本20・5 ④大阪14 ⑤東京11 ⑥宮城10 ⑦兵庫8・5 ⑧福岡7・5 ⑨岡山・広島各6 ⑩富山、静岡、愛媛各5 ⑪北海道、岩手、栃木、京都、和歌山各2・5

牧野がなお、愛知県の四部門(高校男女一般男女)独占は、第二回大会(昭22)の大阪に次ぐ二度目の快記録である

大崎チームは若い

桜丘会戸田監督の話 「やはり強敵は新鋭大崎電気だった。勝てると思う反面不安も大きかった。

得点 00000002000
00278004000
崎崎本原部木田(内)

【愛知】 野山宮塚磯青沢(新)

【寝屋川】 和口原原崎(邦)井井岡

S 020448000
01000010000
得点 221

反則 23
7スロ

大崎は前半宮原の欠場でまともなプレーからうちがもたつた。後半1-1からうちがもたつた。間に逆転された。しかし選手もよく頑張つて同点でできた。途中齋藤が負傷してバックス陣が心配だったががえって全員やる気を出してくれた。延長になればやはりうちの伝統がものを言ったわけだ。大崎とうちを比較してみると大崎は単独チームでチームワークがよく練習量にも恵まれているがなんといっても若いチームだからうちとしても突込めたわけだ。うちは結合チームで仕事の関係上練習時間は日曜だけに限られているし、大会前に一週間の合宿をやったが合宿といつても仕事が終つてから夜集り全員泊つて出勤前に練習をやるわけで、かなりムリがある。平均年齢はうちの方がやや上だろう。決勝の対大阪クラブ戦には充分の自信があつたし楽に試合が進められた。

意外！大崎(電)熊本(市女)の敗退

国体をみても

愛知県が四種目に優勝し、文字通りの完全優勝だった。一般男子桜丘会。一般女子愛知紡。高校男子中京商、高校女子半田高で桜丘会は第十一回大会について二度目。そのほかはいずれも初優勝である。愛知が強いというのはわかりきつていたことだが四種目優勝とはだれも予想しなかった。一般男子は大崎電気(東京)。高校女子は熊本市立(熊本)が本命だったから。わたし自身もそう信じていた。

(一般男子)

○……進決勝の大崎電気(東京)対桜丘会(愛知)は事実上の決勝戦だった。しかし前日大崎電気のポイント・ゲッターである宮原(俊)(芝浦工大出身)が右足を痛めて欠場した。これで桜丘会に七分の勝利となった。宮原(俊)の欠場は大崎の初優勝を逸した大きな原因といえる。それでも大崎電気は竹野、宮原(藤)井上らの大活躍で対等にゲームを押し進めたのはさすが。ゲームの興味は竹野(大崎)対高村(桜丘会)の打ち合い

となった。後半大崎が追い込んで6-16となったとき、宮原(俊)

本(愛媛)も延長戦となり大いに沸かした。

(一般女子)

○……愛知紡は練習量が多く試合運びがうまかった。決勝で寝屋川クラブとのゲームは速攻の応しゅうで見ごたえがあった。寝屋川は大西姉妹がよくがんばっていた。熊本商大クラブ、日体大は力不足。熊本商大クラブにもう少しスピードがつけたいらたのしめる。(高校男子)

○……中京商の優勝はともかく、

チーム	シュート	得点	成功率
高村	27	11	41.7
今野	29	10	34.5

この数を比較してもわかるように高村のシュートはかなり高率だ。

○……熊本クラブも予想外によくやった。井、樫木(ともに中大)を補強したが実をむすんだ。大阪クラブはベテランぞろい。決勝で9-16と桜丘会をリードしたが後半14-14から28分牧野のロング・シュートが左に決まり、29分牧野に左スミにゴールされると牧野にボールを集めたのはよかつた。勝負は別としていいゲームだった。一回戦の全岡山対住友化学菊



決勝に進んだ明石は立派だった。地味なチームでコツコツとポイントをあげ、準々決勝で地元熊本を破った。これで自信をつけ、準決勝でも清水市商と一点差のゲームをやり9-8で勝ってしまった。自信を持ったときの明石は強い。FWのコンビネーションがよかった。

○：中京商のスピードは超高校級といつていい。速攻の連続、ゴール前のローリング・パス、両サイド

ズーシード 室内近づく

明春1月 東京で第7回全日本

十一月二十七日の全日本学生生主座決定戦が終ると、四月に始まったフィールド・シーズンが開幕し、代ってインドア・シーズンの到来である。近年、インドアの面白さが、内外によく判りかけ

ドの使い方など大学級の力を持っていた。早くて低い三角パスに相手バックスはい分手を焼いていた。ベスト・4に残った盈進商(広島)は全くのダークホースだった。鎌倉学園(神奈川県)を8-5で破った。もっとも鎌倉学園は昨年よりもスケールが小さくなったが、これを破った盈進商の試合運びはうまかった。盛岡一高(岩手)が一回戦で富岡高(群馬)を12-11、二回戦で寝屋川高(大阪)を9-8で押えた。準々決勝で清水

市商に7-5で敗れたがそのファイトは大したもの。東北ハンドボール界のために気を吐いた。これは箱崎監督のコーチがよかったからだ。山形県から初めて国体に参加した山形東高は明石高に対して善戦し、後半1点を入れたのはほめていい。球歴の浅いチームが堂々と国体に出場できたのはこれからのよき資料になろう。神代高(東京)はクジ運が悪く二回戦で中京商に敗れたが、これからのチームで将来たのしめる。和歌山

かに面白い。本場のヨーロッパにおいても、最近では、フィールドよりインドアに人気移っており、各国のインドア選手権を集めた「ヨーロッパ・カップ・トーナメント」(本誌創刊号海外ハンドボール通信参照)は、今やヨーロッパ・アマ・スポーツ界のビッグイベントの一つにさえ数えられていると云う。オリンピック東京大会でも、ハンドボールが採用されたら七人制にしようじゃないかと云う声があがっており、ハンドボールと云えば室内スポーツと答える日が来ないとは云えなくなった。

いながらとにかく決勝に進んだのは気があったからだ。○……優勝した半田高(愛知)についてはなにもいうことはない。優勝候補の熊本市を破ったのだから……。さすがはハンドボール王国といわれる愛知代表のことだけはある。涌谷高(宮城)の準決勝進出は当然のこと。井原高が準決勝で熊本市立と延長戦をやったのは賞されている。新居浜東(愛媛)、明善高(福岡)はもう少しスピードをつけたら伸びるだろう

た時、今年は明春の男子七人制世界選手権大会への初参加や、オリンピック東京大会のハンドボールは七人制になりそうだというニュースも伝わっており、一そう興味をかきたてるシーズンになりそうだ。

※……………※

ハンドボールと云うと、サッカーの逆だと覚え込んでいて、室内と云うのがあるよ」と云うと「エーと云うムキもまだまだ多い。それもそのはずで、日本がこのシステムを移入してからまだ八年の歳月しか経っていないのである。ところが七人制(室内)」を一度でも見た人がいると、フィールドより数段面白いと云う。

ルールも戦法も大巾に違い、特別に見た目には現代感覚と云われる「スピードとスリル」があつて確

日本ではまだ八年

さて、日本では、来春三月、西ドイツで開かれる第四回世界(男子)選手権大会に代表チームが出

場することに決定して(別面詳報)いるが、前にも述べたように、我国に「七人制(室内)」が紹介されてから、まだ八年しか経っていない。公式的な大会の嚆矢は昭和二十八年大阪で開かれた第一回西日本室内選手権大会で、全日本(総合)選手権は昭和二十九年十二月、大阪で第一回大会が開かれたのが最初である。

面白いことに、我国では「七人制(室内)」は、関西の方が早く普及した。これは指導者の理解と、大阪周辺により多く体育館があつたからではないかと思う。第一回の全日本総合選手権は、大阪で開いたセイもあつたが全参加三十チームのうち、京阪神地区からの出場が二十四であり、女子は全参加七チームが近畿勢であつた。

しかし、優勝者となると男子は

第一回以来関東側が握り続け、そうしたことが刺激となつて関東はもとより昭和三十年頃からはそのチーム数も全国平均して増え、四月から十一月までがフィールドシーズン、十二月から二月までがインドアシーズンとおのずから色分けされることになり、現在では全国の中学、高校の殆どに普及し、旅行する車窓の中からも、ほとんどいたる所の校庭に二色にぬられた七人制ゴールが設けられているほどの発展ぶりである。

第七回大会も東京

「七人制(室内)」が、こうまで早く普及したのは小人数で済むためのチームが作りやすいことと、昭和三十三年から国内の女子はすべて時季を問わず七人制に統一したこととも原因している。チー

ム編成が容易なことは、各地に七人制専門のクラブチームが出来たことでも判り、また、実業団でも七人制ならと云うところがかなり多い。

ところで、今年の全日本総合選手権大会第七回は予定では、明春一月末、東京の台東体育館が新宿体育館で行われることになってい

る。東京での開催は、今春一月の第六回大会に次いでのもので、特に台東体育館は地の利は必しもよく

ハンドボール競技も中、高校と教材になって急げきに競技人口がふえて来た。

室内ハンドボールもおく外の広大なグラウンドを必要とするに批例して体育館内で自由にやれるという点からこれ又一じるしい進歩を示して来た。室内

ハンドボールのみ力は前記したような一個の手狭なコ

ートでも競技可能だし、しかも現代人に要求されるスピードがより以上ある事にある。

屋外の番外中盤でのせり合いが出なく試合が時としてゴール前だけに終始する場面が多く又ゲームの流れというものが中断されやすい、その点室内ハン

ないが、インドアハンドボール向きでスタンドも見やすく、その醍醐味を味わえる点では、全国でも屈指の設備である。今年是最終日の男子決勝戦で、芝浦工大が全日

体大に驚異的な逆転を遂げるともに、四つ目の全国タイトルを得ると云う偉業を樹立した思い出のゲームを演じており、女子でも、

第一回以来最高の十六チームを集めるなど、東京初公開と云う懸念されたハンドイも逆に室内フアンを獲得すると云う大ヒットを飛ば

ドボールにもあるとはいえそこは速攻とスピードを加えて中盤での変化にとんだ遅速攻を屋外より、より以上スピードと変化にとんでやるものみものにとつて充分この競技をたんのう出来る。

七人制ハンドボールの魅力

小川励行

ここに七人制ハンドボールのよさもある。バスケットのように激しい動きと活動力を要求されるが、女子にも簡単になじめるし施設の点も体育館があれば充分にプレーが出来るもの。バスケットのコートと併用してコ

ートを作成しておればいつでも

して成功を納めている後だけに、第七回大会への寄せる期待も大きい。

現われるか室内新戦法

第七回大会への期待の一つは、これまでの大会では、二、三を除いてはどのチームもフィールドと殆ど同じような戦法を用いていたが、この大会辺りから室内には室内特有の試合運びが考えられて来て、その激しい応酬となりはしな

いかと云うことである。わずかな時間に楽しめるということも屋外競技に対して七人制のよさがある。中高校生を対照とした競技としては手ごろであり設備も簡単で高度な技術もあまり必要としないだけに誰にでも親しまれるのが七人制の長所

（筆者はデイリースポーツ記者）



室内では一回のパスで相手ゴールへ寄せることも出来るのだし、横パスと云うものはそう効果の大きいものではない。タテのショートパスを使った室内戦法が各チームのカラーにあわせて作られるは、それだけで充分見応えのある試合が展開されよう。

室内選手権の時は女子の方が面白いと云われるが、女子は否応なしに七人制であり、これまでの十人制の概念を一切捨てて、新しい戦法とチームカラーを作らねばならず、そのために各チームが非常に苦心を払って「攻防固」を作り上げていくからで、その点、男子の方は今までの大会では、どうしてもフィールド嗅が残ってしまった。

室内の普及と発展向上は、技術面からも、この大会あたりで大きな変化と伸展を見せるものと期待される。

参加チームと云う点でも、第七回大会は記録的な大会になるのではなからうか。ただ、学生チームが試験前のため参加が難しいと云うケースもあるが、クラブチームや実業団の目星しいところはほとんど顔を揃えよう。

第六回大会では、高校チームの鎌倉学園（神奈川県）が大活躍をして、三位に食い込む健闘を見せ、女子でも遠来の熊本クラブが初優勝を飾るなどして話題豊富だった

が、第七回大会も連覇を狙う快調芝工大（東京）、名門の名にかけても自らの手で芝浦打倒を果した全日体大（又は日体大・東京）それに早大、教大、立大、法大、慶大と云った関東諸校あるいはそのOBチームそしてその角遂に日本の地方勢も当然また加ることになる。一方女子でも愛知（愛知府）対熊本（熊本大クラブ）と云う宿命の対決や、日体大（東京）栃木女高、静岡城北クなどの名門、それに伝統の茨城勢による優勝争いは、今年度ハンドボール界の総決算大会にふさわしい内容となるだろう。

〔註〕第七回全日本総合室内選手権大会は36年1月24日から5日間、東京の台東体育館で開催されることになった。

申込みの切りは1月10日、日本協会まで必着のこと。

▽年次優勝者

（男子）

- 第一回 日体大、第二回 日体大、第三回 全芝浦工大、第四回 日体大、第五回 全日体大、第六回 芝浦工大

（女子）

- 第一回 春日丘クラブ（大阪）
- 第二回 日体大、第三回 日体大、第四回 半田高（愛知）
- 第五回 寝屋川クラブ（大阪）
- 第六回 熊本クラブ

水俣の国体はとにかく盛大だった。これですべてをいづくせると思う。水俣市長をはじめ国体事務局の努力というものは表現できないほどだ。浜公園グラウンド、水俣一小、水俣二中の三方所でスムーズに行なわれ本場に気持がよかった。昨年水俣市で全日本総合選手権を開催した関係で市長さん、助役さんがハンドボール・ファンになっていた。ことが大きなプラスとなった。

もちろん熊本県ハンドボール協会の努力も見のがせない。熊本はハンドボール王国とはいえず、あまりなじみのなかつた鹿児島県に近い水俣でこんなに歓迎されようとは思っていなかった。

わたしは新聞記者として第一回国体から熊本国体まで数多い国体を見てきたが、水俣のように気持よく仕事ができただけは初めてだった。いまでの国体で相撲、卓球、軟式庭球、バレーボール、ボクシングとあらゆるスポーツを見てきた。しかし水俣市で受けたあの大歓迎にはおどろきもしたし、逆に感謝もした。

○……なにかの手違いで湯之尻温泉の三笠屋で共同通信社の部屋がなかった。普通なら腹を立てて国体事務局に怒鳴り込むのだが、地元白取さんや熊本県ハンドボール協会の藤田さん（熊本済々齋の先生）がよくお世話してくれた。それで日本ハンドボール協会理事の高島さんの部屋に転がり込んだ。高島さんは親友

菊の香も高い国体会場

＝楽書帖＝ 第4回

治 武 尾 駕

でもあり、「オイ」と「貴様」で通る仲なので狭い部屋に同宿したわけ。○……浜公園のグラウンドでびっくりしたのは一般の観覧席があり大会第一日の二十四日はきつしり満員となった。こんなことは珍らしいのではなからうか。本部席の前には白菊、黄菊の鉢がズラリと並び、真夏の気候のなかで秋の気配を感じさせた。地元の白取さんが「どうです。この菊のみごとなこと」と自慢していた。自慢するだけのことは十分ある。また白取さんのお嬢さん（……）についても日体出身、京都で中学の先生をやっている）はわざわざ京都から水俣までやってきて本部記録席に陣取り、記録の整理を手伝っていた。名前は愛玲（あいら）といいまだ独身。父娘でハンドボール・ファン。

○……国体が始まる一週間前に熊本市立高校に行ってみた。女子高校ナンバーワンチームをみるために。男子生徒は一人もいない全くの女学校。肥後女性が集団をみてびっくりした。広いグラウンドでトレーニングにはびむのチームのたくましさ。南国の強い日光を浴びなんと真つ黒なこと。



時 評

最近のハンドボールはやたらに反則がそれもバックスの反則が多くなった。大学も、高校もである。両チーム合せて六十と云うのがごく当り前な数字になつて来ている。単純な算術をすれば、一般男子の試合は六十分、つまり、一分間一回はレフエリーのホイッスルが吹かれてはいるわけである。ス界の最高峰であるハズの去る七月の全日本学生選手権を例にとると全二十三試合のうち、両軍の反則合計が七十以下と云うのが十四試合、そのうち六十以下は七試合

やたらに増えた無暴な反則

粗暴と斗志を混同するな

もち論、反則も一つの戦法として用いられるケースもあり、さけられるファールと云うものもあるが、最近のバックスの反則の特徴（？）は無暴に近いラフ・プレーが多いと云うことで弁解の余地がなくこれが「問題」なのだ。反則全盛？を物語るエピソードとして、ある記者が筆者に「○○大学は試合しやすい。あそこはバックスの当りはキレイだからFWは抜きやすいだろうし、ボールもよく廻る」と関東リーグの某大学のFWが話しているんですからねとガイタンしながら話してくれ、その記者は「もう、関東リーグじゃ本当のハンドボールは見られないかも知れませんが」とつけ加えた。

えているのだろうか。最近の学生界が低調だ、つまらないと云われる原因は案外こんな所にあるのではないかと。少なくとも、反則は悪いプレーと云う考えよりも、反則はしなければ損だと云う考が支配的なことは間違いない。三十五メートルラインの設定以後、反則は目立って増えて来ている。相手六人。味方六人。これまでよりも対人攻防が増して来たのは事実だが、面白くするために、ルールが改定されると云うのは、日本ハンドボールが未熟だと云うことも露呈しているようなものではないか。

もつとも一方ではあるOBのように「昔は一すく引つぱられたり、突かれたりしても痛そうなお顔をしたり、ましてやすくボールを落としてしまうことなんかなかった」とむしろ、反則を喰うFWさえいつかりと云技と精神さえ持っていたらと云いたげだった。その是非はゆずるとして、少くとも、バックスの反則が多くて面白い試合など期待出来るはずがない。

海外一流チームの来日でようやく走るハンドボール、走らねば勝てぬハンドボールに成長しつつある時、そうした発展を阻害するような反則の多発は、この際レフエリースタエティ等各関係審判機関としても早急に対策を公けすべきだ。

B Aさん、オリンピック・ハンドボールのその後はどうなりました？

A おやおや、B君の方が詳しいのかと思ったが、僕に質問かい？

B いや、もはやJHA（日本ハンドボール協会）だけの動きから判断や予測は立たなくなりましたもので……

A それは、こちらとも同じことさ。JOC（日本オリンピック委員会）の動きだけじゃどうしようもないのだからな。

B でも、カギはJOCが握っているのでしょうか？

A たしかにJOCが一応種目制限をしてそれから改めて来年五月のIOC（国際オリンピック委員会）総会に開催種目を提起するのだけど、しかしJOCとしても一朝一夕に削れるものじゃないから大変だ。

B 卒直に云ってハンドボールは危いでしょ。

A 危いとも危くないとも云える。しかし絶対大丈夫とは云えないな（笑）

B 判ったような、判らないような答えてですけど、ローマ大会から帰った体協関係者はみな東京大会は柔道を含めた22

種目開催だと云っていたのに、一ヶ月足たぬうちに、JOCで種目制限を発表すると云うのはどうゆうワケですか。

A 22種目と云ってはいたものの、これは今となってはカモフラージュだな。一説には九月十日にローマで行なわれたIOC実行委でオリンピックの開催種目を15あるいは18種目にして、これは東京大会から適用すると申し合わせたの

線は崩れたわけですか。
A もはや決定的だね最高18、最少の場合は15種目と云うことになりそう。もしそうならハンドボールは18種目なら当落選上、15種目なら難かしいと云うことになる。

B 当落の基準になるのはやはり過去の実績でしょう。

A そう、それと費用のからから、広く普及していること、将来日本のスポーツ振興に役立つものと云うことが

公算半ばの五輪ハンドボール

決定的なカギ握る「普及度と経費」

だそうだから、日本の体協関係者の首脳陣は帰途すでにこの申し合せを知っていた勘定だ。それを、帰国した時、相変わらず22種目可能説を発言していたのだからネ。

B 影響多しと見たのでしょうか。

A おそらくそうだろう。だからこの問題についてJOCとしては正面から取り組むことをさけているわけだ。

B で、ともかく22種目開催の

加味されるだろう。
B 費用のからからなことと云う点で思い出されるのですが、IHF（国際ハンドボール連盟）では、東京オリンピックに加えられる場合には十人制ではなく七人制を行なうと発表していますネ。

B 広く普及していると云う面でも高島理事長なんかは「他の競技団体が六十年近くかかっただけを、ハンドボールは二十年でやって来た。普及の早さが判っていただけ」と思いう」と話していますネ。

A そうだよ。たしかにそうして一つ一つを分析してみるとハンドボールは開催条件を満足させるだけのモノを持っているんだが……

B でもなにかが足りない……

A 実績、それにPR不足と云った所かな。しかし、ヨーロッパ各国の関心はものすごく高いよ。

B ベルギーで九月末に開かれたIHF総会でも、ともかく「東京大会参加を当面の最大目標」としてJHAに協力するように各国衆議一決で決めたと云うし、国際的なバックアップは積極的になって来ましたからね。

A しかもネ、IHFの会長で

あるハンス・パーマン（スイス）氏から東京大会には21ヶ国の参加が予定されていると云う公文書さえ届いているんだ。

B 東京新聞のスポーツ欄のコラムに「JOCはこれをハンドボールの事前運動ではないかと神経をとがらせている」と書かれたあれですネ。ヨーロッパ各国の活動も積極的に表面におし出て来た感じですよ。JHAとしても尚一層の努力を払わねばなりませんナ。

A 技術面ではルーマニア戦で日本のレベルがA級なことが立証されたのだし、専門コーチに荒川清美氏も推せんされている。技術面の方は、一応今のところ万全らしいから、君の云う通りJHAとしては最後の勇をふりしぼる時が来ているな。

B メドがつくのは十二月半ばという説もありますが一

A 競技種目の整理を担当する小委員会が近く設けられるから、早ければ年内になんらかの線が打ち出されるだろう。

B 種目の選択はIOCに一任せよと云う声もあるし、波乱は当分つききりな予感もしますネ。どうも色々有難うございました

連勝芝浦工大遂に敗る!!

関学終始試合のペース握る

学生王座
決定戦

見逃せない斗志と団結力

第四回全日本学生王座決定戦は十一月二十三日午後二時半から、西宮野球場特設グラウンドで、東日本代表芝浦工大(関東)と西日本代表関学(関西)との間で行なわれた。主審、村田弘(日体大O B)スローオフ関学。

と、名門の名にかけてもと云う意地があった。

○：しかし、試合前まで、誰の目にも精神的な面における芝浦工大の優位は動かさなかった。今夏の全日本学生進決勝で関学を降していると云う点でも、また、昨年の王座戦でもやや一方的なペースで勝利を得ている点でも芝浦工大には余裕があった。

○：結果から論じれば、芝浦工大の敗因の一つはここに秘んでいたと云えよう。昨秋から今年の春、

夏に見せた関学の試合ぶり、秋に見せた関学の試合ぶりは大きく変化し、そして成長していた。その点に芝浦工大は計算違いをしていたのではなからうか。

○：優位に立った関学はその後も緩急自在の巧妙な試合運びを見せた。その第一は芝工大がゲッターとして徹底的なマークに出たRI日向が殆ど積極的な攻撃を見せずパスサーとして、他のFWをよく動かし、相手の関心を自分に引きつけておいて市場なり、山田なり

○：この日まで四十七連勝を続ける全日本チャンピオン芝浦工大には王座戦出場十三回と云う伝統

○：立上り、芝浦は一分LW塩川

○：後半になっても関学は意欲的な攻防を見せた。試合前、渡辺関学監督は芝工大FW対関学バックスと云う巷説を嫌い(次頁へ続く)

○：この二つの関学の戦法は、芝浦工大に対する研究成果の表われであり、更に、チームワークもたらしたものであった。まさに名門の伝統と団結の結晶であり、この試合の内容と意義を一段と高めるものであったと云えよう。また関学が自らのスローペースにじれることなく、それに徹したことで逆に芝浦工大が警戒しながらもそのペースにはまりこんだのも見逃せない。

【芝浦】 GK 本藤上倉口井藤村田山川
FB 福尾村勝田武佐北山金塩
FW 交代(芝) FW 間

【関学】 GK 小藤山富安村山日市宮藤
FB 河原淵川部田田向場地井
HB 藤上倉口井藤村田山川
FW 38 ST 34
35 反則 42

芝浦工大連勝のあと

(戦勝敗)

勝負	記録	相手	月日	場所	結果
○	16-10	同	34.7.2	西宮	勝
○	19-8	早	3	"	勝
○	11-8	京	4	"	勝
○	18-11	明	5	"	勝
○	33-1	四日市商高	8.13	水俣	勝
○	17-15	桜丘	14	"	勝
○	15-9	中大	15	"	勝
○	24-16	全全	16	"	勝
○	18-15	全日体	17	"	勝
○	21-2	立大	10.18	駒沢	勝
○	28-8	教大	31	"	勝
○	22-6	慶大	11.1	"	勝
○	18-10	早大	2	"	勝
○	9-7	中明	3	"	勝
○	13-10	明大	7	"	勝
○	19-16	日体	8	"	勝
○	21-5	東北学院	11.15	仙台	勝
○	26-4	名古屋工大	"	"	勝
○	24-17	関学	11.29	国立	勝
○	29-3	明星クラブ	35.1.29	東京	勝
○	14-11	早大	30	"	勝
○	23-15	滴水大会	30	"	勝
○	14-13	全日体	31	"	勝
○	20-5	防衛	35.5.8	駒沢	勝
○	7-6	慶大	14	"	勝
○	24-11	教大	15	"	勝
○	18-4	明大	21	"	勝
○	19-7	早大	22	"	勝
○	20-10	中大	28	"	勝
○	13-10	日体	"	"	勝
○	30-15	教大	7.14	駒沢	勝
○	15-14	日体	15	"	勝
○	11-9	関大	16	"	勝
○	13-9	明大	17	"	勝
○	24-7	全立教大	8.11	大曲	勝
○	11-4	白亜クラブ	12	"	勝
○	20-7	桜丘会	13	"	勝
○	13-10	大崎電気	14	"	勝
○	19-7	法大	10.16	駒沢	勝
○	24-7	慶大	22	"	勝
○	20-7	教大	29	"	勝
○	18-8	早大	30	"	勝
○	12-7	明大	11.3	"	勝
○	19-11	中明	4	"	勝
○	20-11	日体	6	"	勝
○	24-5	東北学院	11.12	名古屋	勝
○	24-9	中大	"	"	勝
×	11-12	関学	11.23	西宮	敗

優勝 全日本総合3回
学生王座6回 1回 18

芝浦工大、文句なし

二位中京大 三位東北学院 全日本王座東日本予選

第四回日本学生ハンドボール王座決定戦東日本予選会は十一月二日、午前十時から名古屋市の鶴舞球技場に芝浦工大（関東秋の優勝校）東北学院大（東北、北海道秋の優勝校）中京大（東海秋の優勝校）の三校が参加して行なわれ芝浦工大が予想通り圧倒的な強さを見せて四連覇を遂げた。なおこれで、芝浦工大は昨年七月二日、第二回全日本学生選手権で同大（関西）に勝って以来、この日まで連続四十七連勝の偉業を遂げた。

▽第一試合
中京大 18-17 東北学院（東海）

【東北】垣克崎 藤田 沢上 芳 長井 橋 齋 橋
石高宮 佐菅 相村 高 高藤

【中京】地原 川山 田橋 藤場 田演 精
戸森 神山 山高 近馬 羽伊 佐

○：優勝は芝浦工大に戦わずして決まっているようなものであったが、しかし地方学生界の実力を問うにはよい機会であった。特に最近活躍している東北球界の東北学院大、それに中京商のメンバーを多量に迎えている中京大と地方学

▽第二試合
芝浦工大 24-15 東北学院（関東）

【芝工】本藤 上保 口井 藤村 田山川
福尾 村久 田武 佐北 山金 塩

【東北】垣克崎 奥田 沢上 藤 齋 橋
石高宮 高菅 相村 佐 高藤

芝浦工大 24-9 中京大（東海）

【中京】川原 川山 田橋 藤場 田演 精
北石 森神山 山高 近馬 羽伊 伊

【芝工】本藤 上保 口井 藤村 田山川
福尾 村久 田武 佐北 山金 塩

生界でも注目を集めている二校が顔を揃えていただけに一応の興味はあった。
○：第一試合、東北学院×中京大は、東北の力一杯の試合ぶりで接戦となった。特にCF齋がよく当たり、GKの死角をつく好シュートを放って得点。東北は押し気味に試合を進めた。これに対して中京大は、チームプレーがあまり見られず、羽上田の個人技でどうやら

点差を開かれずに済んだ。後半、東北は遅攻を採ったが、ようやくパスワークの整いだした中京大の追撃にそれまで絶えず先手をとった攻撃が、後手に廻るようになり最後は、羽上田、阿伊藤、近藤らの個人技がモノを云う結果になった。東北はオースドックスな攻守を見せたが、それだけに攻撃が一本調子になっていたのは、否めない。
○：第二試合、芝工大×東北学院は東北ははじめこそ芝工大のFWの動きについていたが時間の差とともに点差を開かれ、攻めても、芝工大バックスの方がはるかに帰陣が早い有様で攻守に脚力の差はつきり表われてしまった。
○：第三試合、中京大の食い下りが期待されたが、やはり脚力の差とディフェンスの差が表われ、芝工大のシュートは、ほとんどノーマーケットで自在の方向に決まった。中京大は前半、FTをLW伊藤（精）がよく活かし、その後も芝工陣内によく攻め込んだが肝心の所で動きが止まってしまった。芝工バックスの陣形を崩すだけの力がなかったと云うことになる。
マ：勝った芝工大のFWパスも、途中から降り出した冷雨にわざわいもされたが、乱れ勝ちで決して

関学、山口大を圧倒

初の全日本王座 西日本予選開く

西日本予選開く

第一回全日本学生王座西日本予選会は、十一月十四日午後三時から山口県山口大球技場で、山口大（西日本）と関学（関西）の間で行なわれ、関学が攻守に山口大を圧倒して快勝、第一回の優勝を遂げた。これで、関学は全日本学生王座に四年連続出場することになったわけである。
▽西日本代表決定戦
関学 23 (1112) 3 山口大 (西日本)

○：中、四国、それに九州を代表する山口大は、張り切った試合ぶりだったが、実力の差はいかんともしがたく、脚力のあるFWにディフェンスがついて行けず前半で大差をつけられた。また、攻めでも定評のある関学バックスに動きを封じられて、後半は体力差も表われて一方的な経過となった。関学、順当の勝利である。

よい出来ではなく、秋季リーグ戦後一週間。調子はやや下り坂のように見受けられた。
○：大会を見ていた三谷（関東・明大）前田（関西、同大）両学連委員長は「芝工大の優勝は文句なしだが、地方チームのレベルは前年よりはるかに上っているが、関東、関西の中央勢に加われば二部の上位程度ではないか。しかし、個々には秀れた選手もおり、積極的に中央勢と交流する機会を持つべきだろう」と話していた。

【杉山茂】

「18頁からつづく」一取られても取る。真正面からの積極的なFW戦が勝敗を決めると云った言葉通りの試合展開だった。しかし、芝工大も流石に後半、猛然と走りまくり、特に20分すぎから見せた気力が見事であった。もしこの奮起が最初からあったならと思はせるものであっただけに、前半の不調は芝工大にとって余りにも大きい悔いを残したと云うことになる。又ポイントゲッターRW佐藤が足の故障で試合の大半は四人のFW攻撃で、得意の六人攻撃が出来なかつた事もあっただろう。
○：ともあれ、関学は、堂々と芝工大を降した。鮮やかだった。見事だった。そして、その勝利は周到な準備と猛練習の賜でもあったし、この日を期したチームの闘志はすばらしいものであった。

芝浦工大、七連覇成る

立二部は
大 関東学生秋季リーグ

秋の関東学生リーグ戦は十月十六日から一部八校、二部八校が参加して駒沢ハンドボール場で行なわれた。

▽第一日(十月十六日)

(一部)

芝工大	19	7	法	大
日体大	17	3	慶	大
明大	19	11	教	大
早大	13	10	中	大

(二部)

学芸大	13	10	茨城大	大
順天堂大	15	14	東大	大
防衛大	不戦勝	千葉大	大	
立大	不戦勝	武蔵工大	大	

【第一日目から】荒馬法大が緒戦で固くなる芝工大にどう食いつくか興味を持たれたが、芝工大の地力は流石で、春に比べて安定度を増した攻守に法大は最後までつけいるスキがなかった。中大はFWの整調未だして、早大の豪放なFW攻撃に一步をゆずり早くも土をつけ、二部では前季に続き順天堂が東大を破り注目された。初日から二校の棄権があったのはいたさない。

▽第二日(十月二十一日)

(一部)

日体大	18	14	法	大
芝工大	24	7	慶	大
早大	17	15	明	大
中大	16	6	教	大

(二部)

学芸大	16	11	順天堂大	大
東大	14	9	茨城大	大
防衛大	不戦勝	武蔵工大	大	
立大	不戦勝	千葉大	大	

【第二日目から】インカレで日体大に善戦した法大は自信のある攻撃で前半健闘した。後半も一歩も引かぬ奮戦だったが、終盤詰めの悪さを見せて惜敗した。日体大の試合運びと体力に一日の長があった。調子の波にのる早大は接戦の末明大も食った。シーズン前低調をうわさされた早大の試合ぶりはこれから先が楽しみである。

▽第三日(十月二十九日)

(一部)

慶大	11	9	明	大
日体大	19	11	早	大
芝工大	20	7	教	大
中大	19	12	法	大

(二部)

学芸大	17	4	武蔵工大	大
東大	不戦勝	千葉大	大	
防衛大	22	11	茨城大	大
立大	14	12	順天堂大	大

▽第四日(十月三十日)

(一部)

中大	12	10	慶	大
法大	15	13	明	大
日体大	27	7	教	大
芝工大	18	8	早	大

(二部)

東大	16	9	武蔵工大	大
順天堂大	10	9	防衛大	大
立大	20	10	茨城大	大
学芸大	不戦勝	千葉大	大	

【四日目から】調子づいた慶大が中大に食い下り第一試合は予想外の接戦となったが、FWはブのあ

中大が辛うじて勝った。法明戦は法大のFW力の強さがいかなく發揮されて明大を久々に破った。後半、ややラフなプレーも見られたが法大の気力勝ちと云える一戦だった。日体大は今季最高得点をマーク、危なげなく勝って四勝をあげれば芝工大も、早大のロング攻撃を警戒しながらも、攻守したプレーで着々と得点、力の差を見せた。二部では立大と学芸大が四勝をあげトップに立ち、前季一部の防大は順天堂大に敗れた。

▽第五日(十一月三日)

(一部)

日体大	19	15	中	大
芝工大	12	7	明	大
教大	9	6	慶	大
法大	15	14	早	大

(二部)

防衛大	12	10	東大	大
立大	15	9	学芸大	大
順天堂大	14	1	武蔵工大	大
茨城大	不戦勝	千葉大	大	

【第五日目から】第一試合、中大は五日目にしてその本領を發揮した感じであった。しかし日体大は

後半風を利した攻撃で加点し、延長に持込み、延長後はベースを握った。法大が早大を破ったのは実に久しぶり。昭和31年の秋東京大学のリーグの時一度破っているが関東リーグでは実に昭和26年春以来である。法大のFWのシャープさが目立った。

▽第六日(十一月四日)

(一部)

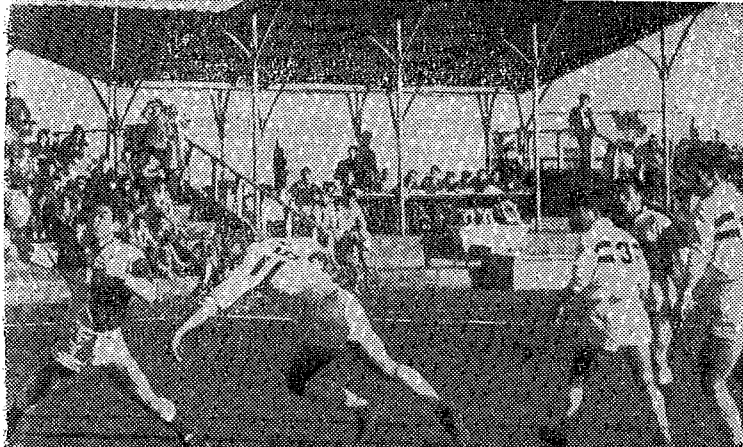
芝工大	19	11	中	大
明大	13	10	日体大	大
早大	9	4	慶	大
教大	26	22	法	大

(二部)

芝工大	19	11	中	大
明大	13	10	日体大	大
早大	9	4	慶	大
教大	26	22	法	大



ハーフタイムのひとつ、芝工大応援団の熱援ぶり



立 大 17 | 10 東 大
 茨城大 19 | 5 武蔵工大
 順天堂大 不戦勝 千葉大
 防衛大 11 | 6 学芸大

【第六日目から】中大は勝味の悪い欠点をさらけ出して、前半一方的に芝工大に押し出されて、明日戦は、日体大が明大のペースに巻き込まれてしまい、珍しくも拙戦をして敗れた。明大の緩急戦法は戦前から判っていただけに、日体大の試合ぶりは背けなかった。早慶戦はラフプレーの連続で二流試合。教法戦もラフプレーが多か

つたが豪放味のある試合で法大は前半のリードを活かせなかったのが敗因。二部では立大が順調に勝つた。

【第七日(十一月六日)】

法 大 17 | 15 慶 大
 早 大 16 | 14 教 大
 中 大 12 | 7 明 大
 芝工大 20 | 11 日体大

【日体大】 田井田栄川前義 山山上上
 保木田 木林
 福運久青宇越青 北栗井川

【芝工大】 本藤上倉口井藤村田山川
 福尾村勝田武佐北山金塩

(二部)
 武蔵工大 不戦勝 千葉大
 順天堂大 21 | 10 茨城大
 学芸大 10 | 9 東 大
 立 大 14 | 12 防衛大

【第七日目から】各校とも最終戦とあって何れも好試合。不振の教大、慶大が攻守に張り切ったために第一、第二の試合も気の抜けない熱戦だった。優勝を賭けた芝日戦は、両チームとも秀れた脚力を利しての白熱戦を展開。芝工大は前半、向かい風のため速攻が鈍り勝ちだったが、CF山田が快調にシュートを決め常に優位に立っていた。日体大も追い風を利したロングシュートを多投し、LW井上、CF北山らのシュートで善戦したが、芝工大 GK 福本の沈着なプレ

順位	芝日	中早	法明	教慶	勝負	総得点	失点
①	芝日	○	○	○	7 0	132	58
②	中早	●	○	○	5 2	121	83
③	法明	○	○	○	4 3	95	86
④	教慶	○	○	○	4 3	88	95
⑤	芝日	○	○	○	3 4	102	124
⑥	中早	○	○	○	2 5	83	88
⑦	法明	○	○	○	2 5	80	126
⑧	教慶	○	○	○	1 6	65	97

2部順位①立大7勝②順天堂5勝2敗③防衛大5勝2敗
 ④学芸大5勝2敗⑤東大3勝4敗⑥茨城大

1に阻まれその上単調なシュートが多かったために思ったより効果が高かった。後半風下の芝工大は持前の速攻が活き、連続シュートを決める鮮やかな攻撃ぶりは日体大バックスにつけるスキを与えずRW佐藤、LI金山CF山田がピンポイントを決め、20分には

15 | 9と開いて大勢を決め、ここに七連勝、八度目の優勝を遂げるとともに、昨年七月以来の連勝街道は遂に45連勝と云う快記録にまで伸びた。なお、二部は最終カードで立大が、防大の後半の反撃を振り切って七勝し順当に優勝した。

第十回学生選抜東西対抗は十一月二十三日午後一時から、西宮野球場特設グラウンドで、王座戦に先立ち行なわれた。主審狩野(日体OB)スローオフ東軍

西日本学 16 (8 | 9) 14 東日本学 生選抜軍 (8 | 5) 14 生選抜軍

○：後半25分まで14 | 14と予断を許さなかったが、26分西軍は当り屋LW高村(関大)が見事なジャブシュートで15 | 14、28分30秒には14米投を得て勝利を握り、東軍の四連覇を阻むと共に対戦成績を五勝五敗のタイにこぎつけた。

○：スコアの上では一応シューティングゲームだったが、共に一位の関学、芝工大選手を除いての編成で、しかも寄せ集めの感はまだぬがれず、個人プレーの多い、スピード感を欠いた試合だった。東軍RW恵谷(早大)と西軍の高村のシュート合戦が唯一の見所と云うのは、オールスターゲームと云うにしてはお粗末すぎる。

▽両チーム出場メンバー

順天堂大、学芸大の進境で二部上位四校の角逐はなかなか見応えがあったのは喜ばしい。千葉大が最後まで姿を見せなかったのは、なんとしたことか。

▽入替戦(11月12日)
 立大(一部) 13 | 12 慶大(二部)
 この結果、立大が一部に昇格。なお慶大の二部は昭和三十一年春以来。

【東軍】▽監督、佐野和夫(教大出)▽GK福田(日体大)石垣(東北学院大)
 ▽B 井(中大)久保田(主将、日体大)青木(日体大)佐藤(明大)中野(教大)森川(中京大)
 ▽FW 恵谷(早大)深美(教大)石井(中大)吉田(早大)井上(日体大)斎(東北学院大)羽上田(中京大)

【西軍】▽監督、小西(京学大出)▽GK 中(同大)田村(甲南大)
 ▽B 岩村(関大)林(同大)中江(同大)神前(主将、同大)渡辺(関大)
 ▽FW 山根(山科大)川野(京大)荘林(神大)松田(関大)今藤(同大)高村(関大)西本(神大)浅野(京大)

なおこの東西対抗戦は明年から一位を含め毎年九月中旬名古屋において開催される事が全日本学連会議で決定した。

西軍、終盤に決勝点

東軍の四連覇ならずタイに

関学も七連覇、24回目 の優勝遂ぐ……関西学生リーグ

関西学生秋のリーグ戦は十月十五日から西宮球場を中心にして一部八校、二部が七校参加して行なわれた。

一部▽第一日

関学 28―5 立命館大
関大 16―6 甲南大
同大 13―3 大府大
神大 14―5 京大

▽第二日

関学 16―5 甲南大
同大 22―12 神戸大
関大 22―9 大府大
京大 14―9 立命館大

▽第三日

甲南大 10―9 京大
同大 18―10 神大
同大 12―2 立命館大
関学 15―8 大府大

▽第四日

同大 甲南大
関大 立命館大
京大 大府大
関学 神大

▽第五日

関学 13―9 京大

同大 19―16 関大
神大 11―5 立命館大
大府大 7―6 甲南大
▽第六日
大府大 10―0 立命館大
神大 10―10 甲南大
▽第七日
甲南大 12―5 立命館大
神大 11―7 大府大
同大 13―9 京大
関学 12―10 関大

▽入替戦

立命館大 10―5 大市大

〔戦評〕優勝した関学は、リーグ戦前、苦戦が噂されたが、むしろ春より楽勝が多かった。これは春から秋への猛練習の成果と見てよいものだろう。しかし、そのスタツフからすれば、順当の勝利と云うことも出来、その点では予想通りの結着に終った。強いて苦戦を拾うと最終日の対関大戦と云うことになるが、しかしリードを許しながら後半に見せた自信のある攻撃ぶりはやはり、押しも押されぬ世ぬ王者の貫録であり、春秋通算二十四度目、しかも、東の芝浦工

大同よう七シーズン連続優勝と云う偉業は絶讃に価しよう。

個々では、FWの新人LW藤井(明石高)が長足の進境を見せ、CF市場の活躍もよかつた。この二人の奮起で、RI日向がパッサ

方がないことだろう)ラッシュユ法に今一步の力不足を感じさせる点だろう。芝浦工大の強さがそのFW力にあることは、今さら他言を要さないが、特にその波状的な連続攻撃が大きな特長であり推進力である。その点、関学は、伝統的な遅攻のニオイが、未だ幾分残されているようでラッシュユ攻法さえ会得すれば、遅攻の妙にかけて定評があるだけに、本格的な速攻、遅攻を使い分ける唯一のチームに飛躍しよう。

二位になった同大は、相変わらず出来不出来の差が大きく、期待された対関学戦も前半一方的に差を開かれて敗れた。一試合の間でも好不調の波があり、特に関大戦では前半9―3と離しながら、後半

見せ、藤井とのコンビネーションは、左サイドをより強力なものにしていった。バックスは定評ある山淵、藤原の両FBとGK小河が安定したディフェンスを見せ、このトリオの強力さが、安部、富川、村田と云うHB陣のその攻撃力をフルに発揮させる大きな役割を演じていたのは見逃せない。村田にしる富川にしるッ六人目のFWとしてどちらかと云えば攻撃型のHBだけに、最終防禦線の強さは大きい。関学に残された課題は、と云うより、東の芝浦工大と比べた時(学生界を語る時、必然的にその一点に関心が集中するのは仕

追いつかれるなど結局、延長で勝負には勝ったが、不安定な試合ぶりを見せている。その顔触れは、関学に劣らぬもので、神前を中心としたバックス、今藤、中江、植野、石橋らのFWは特級品であり今春の前哨トーナメントで優勝したのも、決してフロックではないハズである。技術的な問題より、同大の課題は内面(精神)的なものなのではなからうか。

三位の関大は、豪快なプレーを見せる反面、試合運びが拙く、チームプレーに未だしの感を残したこれは、やはりLW高村への依存度が高すぎるからで、かと云って、

ダントツ フルバード

関学24回優勝の足跡

- 昭22秋
- 昭23春・秋
- 昭24春・秋
- 昭25春・秋
- 昭26春・秋
- 昭27春・秋
- 昭28春・秋
- 昭29秋
- 昭30秋
- 昭31春・秋
- 昭32秋
- 昭33春・秋
- 昭34春・秋
- 昭35春・秋

高村の突進力を上手く活かしていたかと云うとそうでもなく、江尻、松田、寺田らのプレーまで生きていないケースが多かった。しかしチーム全体に粘りが出て来たのは関大にとって大きな進歩であり、春の二位から一步退いたと云って決して悲観するものではないだろう。パックスもGK金原、LH渡辺ら好選手を配して気力のあるプレーを見せていた。神大の四位は天野、花林、西本らのFWの健斗による所が大きい。特に第一戦で京大を食い、第二戦で同大を前半リードしたあたり、その序盤での奮戦は、いつも、大差のつく試合の多いリーグ前半を活気あるものにしていたのは賞してよい。FW天野FB立花の卒業は痛い。来シーズンには更に健斗が期待出来る。ただ、いかにも試合ぶりがおとなしい。よい意味での荒さが望まれるところだ。

春四位の京大の不振は、やや意外だったが、夏頃からチーム力が下降しはじめ、せつかく川野、浅野、酒井と云った好FWを持ちながら、緒戦でつまづいてしまい甲南に敗れたのが大きかった。GK

本田の不精彩も計算はずれだったろう。わずかに、対関大戦に奮起を示したが、前半の取こぼしが祟ってBクラスに落ちてしまった。倦士重来を期してやまない。五位になった甲南大は二勝乍ら上出来だった。これと云った選手はいないが、東西対抗に選ばれたGK田村やRW小倉など若手がよく働き、京大を破り、神大と分けたあたりはなかなかだ。ただラフプレーが多いのはただけでない。

大府大は実力的には他チームとかなり差が見られたが、甲南、立命を破り、元氣なプレーを始終見せていた。卒業生も少し、成長が期待出来るよう。春に続いてテールエンドとなった立命大は、相変わらず不振の沼からはい出せない。練習不足が大きい、しかし、若手で固めたメンバーでもあり、奮起を待ちたいところである。二部では、市大が堅実に勝ち抜いたが入替戦では立命に10-5で敗れしまった。一、二部のリーグ内容の差と云ってしまえばそれまでだが、関西リーグの二部校は審判やグラウンドなど、関東リーグのそれと比べると、かなり冷遇のよう

で二部リーグの育成について考えを改めなければいけないのではなからうか。

なお、今シーズンから、秋の全日本学生王座の西日本代表権を秋の関西リーグの優勝校が自動的に得ると云う方法を改善して、西日本学連(中、四国地区)の代表校を争覇することになった。

関西学生秋季リーグ一部勝敗表

学	立	府	京	神	関	学	分
立	○	○	○	○	○	○	00
府	○	○	○	○	○	○	01
京	○	○	○	○	○	○	12
神	○	○	○	○	○	○	23
関	○	○	○	○	○	○	34
学	○	○	○	○	○	○	45
立	○	○	○	○	○	○	57
立	●	●	●	●	●	●	76
府	●	●	●	●	●	●	53
京	●	●	●	●	●	●	22
神	●	●	●	●	●	●	22
関	●	●	●	●	●	●	22
学	●	●	●	●	●	●	20
立	●	●	●	●	●	●	00

①立 ②府 ③京 ④神 ⑤関 ⑥学 ⑦立 ⑧府 ⑨京 ⑩神 ⑪関 ⑫学

当分の間は、実力的に大差があるが、西日本学生ハンドボール界の盟主として関西学連が、西日本地方学生界の発展に寄与することは、意義のあることで結構なことだ。

- × ×
- × ×
- × ×

関東学連への提案

関東学連は、今季前、一部八校、二部八校の現行に、来春千葉工大が参加のため、来春から六、六、五の三部制を布くと発表したが、シーズンが終つてみると、再び現行維持に変わったようである。何故、一度決めたものを覆えしたか。関東学連に残る「不思議な考え」がそうさせたのだろうか、それについては後日稿を改めるとしてとりあえず、関東学連の今後の編成について私見をかかげよう。結論から云うと一部六校、二部十一校とする。一部六校は常識的なリーグ戦をやる。二部十一校はA、Bブロックに分け、Aには前季の二、三、五、七、九、十一位、Bには前季の二、四、六、八、十位が加はり、それぞれリーグ戦をする。そしてその結果A、Bの同位同士が対戦して一位同士の勝者を二部一位とすればよい。現状ではAの六位だけ端数になるからAの五位と三者で交戦すればよいだろう。二部にも一校増えれば問題はなくなる。試合数をトータルしてみると一部が六校総当りで全十五試合。二部がAグループ十五試合、Bグループ十試合、A、Bの順位戦が六試合(当分の間は八試合)となり合計四十六試合(当分の間は四十八試合)となる。現行一、二部八校

第四回全学生日程決まる

全日本学生ハンドボール連盟(理事長中沢重夫、委員長三谷明)総会は、十一月十一日愛知スポーツ会館で関西、関東、東北、北海道各学連の代表が出席して開かれ、主に次年度の全日本学生、同王座の開催期日について協議した。なお、席上、前田関西代表から来年の第四回全日本学生選手権の日程が七月二日から六日までの五日間、西宮で開かれることに内定したと発表された。

原稿募集

課題「雑誌「ハンドボール」に望むもの」内容「本誌についての注文、批判その他」字数「千五百字以内(用紙自由)」切「昭和三十六年一月十六日迄」送当方着宛先「東京都千代田区神田駿河台四の六岸体育館内日本ハンドボール協会編集部」

東海は中京大が初制覇

圧倒の攻守、三タイトルを独占

秋の東海学生選手権(第八回)は、十月二十九、三十、十一月四日の三日間、三重県三重大球技場(四日ののみ名工大球技場)で東海地方の九大学が参加して行なわれた。

▽一部
 名工大 12-2 静岡大
 名工大 10-6 愛知学芸大
 中京大 16-9 名工大
 名工大 15-5 静岡大
 中京大 24-2 愛知学芸大
 (以上、十月二十九日)
 名工大 4-3 名工大
 静岡大 不戦勝 愛知学芸大
 中京大 20-2 静岡大
 名工大 不戦勝 愛知学芸大
 (以上、十月三十日)
 中京大 21-6 名工大

○……優勝戦となった中京大対名工大戦(十一月四日)は中京大が圧倒的に強く勝負は問題ならなかった。名工大は開始10分2-4としたまでが試合でその後は羽上田、伊藤(精)らを中心とする中京大FWに走りまわられ点差を一

【名工大】 川竹池口尾池中出藤島田本村 谷 長佐芝谷長堀田西近中牧松中 GK FB HB FW 交代 地原川山田橋藤場田演精田下 戸 上藤藤

【中京大】 木石森神山高近馬羽伊伊戸平

方的に開かれた。しかし勝った中京大も個人プレーが相変わらず多く個々の実力の高さに比べてチームプレーに未熟さを残しているのは一考を要しよう。他校の実力が低く、個人の突進力だけで容易に得点出来る事が、中京大にとってマイナスイメージになっているようだ。○……敗れた名工大は、攻守にプレーが若く個々のキープ力も乏しくては大敗もしたなかつた。ただ最後まで試合を捨てぬ気力だけは買いたい。三位以下では、やはり名大がまとまりを見せており、雨中戦で名工大に惜敗したが、むしろ力では名工大をしのぐものを持つていたようだ。なお昨秋このリーグに加盟した中京大にとって一部での優勝は、今季が始めてだ

が、この結果、今年になって、一月の東海学生室内、五月の東海学生春季選手権に続き、東海学生界の三タイトルを独占したことになる。(S)

一部勝敗表

	中	工	名	静	愛	勝	敗
中	●	●	●	●	●	●	●
工	●	●	●	●	●	●	●
名	●	●	●	●	●	●	●
静	●	●	●	●	●	●	●
愛	●	●	●	●	●	●	●
勝	●	●	●	●	●	●	●
敗	●	●	●	●	●	●	●

① 中名名静愛
 ② 中名名静愛
 ③ 中名名静愛
 ④ 中名名静愛
 ⑤ 中名名静愛
 ⑥ 中名名静愛

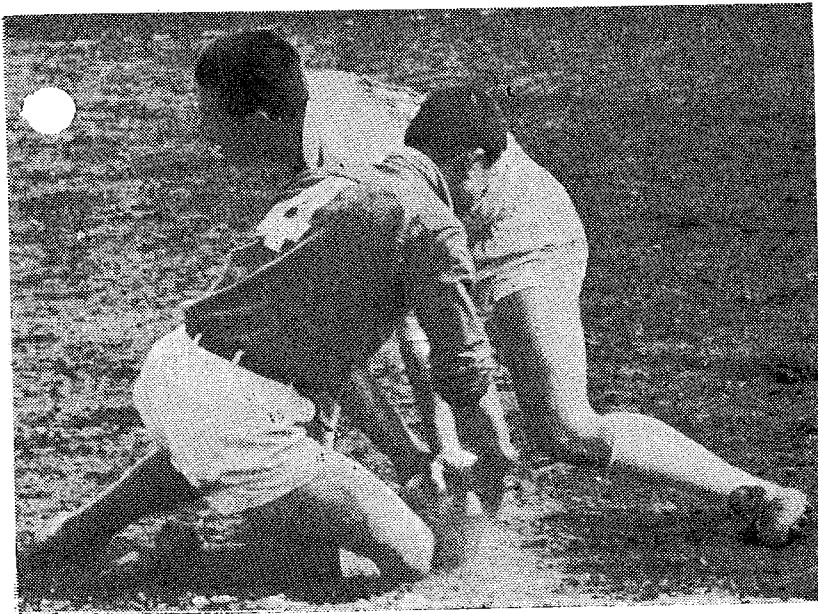
▽二部
 滋賀大 15-8 三重大
 岐阜大 18-3 三重県大
 岐阜大 17-6 三重大
 岐阜大 14-9 滋賀大

三重大 不戦勝 三重県大
 滋賀大 不戦勝 三重県大
 (順位) ①岐阜大3戦3勝 ②滋賀大2勝1敗 ③三重大1勝2敗 ④三重県立大4勝4敗
 △入替戦
 岐阜大 12-10 愛知学芸大 (一部)

訂正

本誌前号、次の個所は誤りにつき

訂正します。
 △4頁、ルーミアチームが一九五七年度世界選手権優勝とあるのは一九五九年度の誤り
 △20頁 執筆者村田弘氏が大会審判長とあるのは大会審判員の誤り
 △27頁 学生リーグ秋季順位予想アンケートのうち関西渡辺一己氏の項は編集上の手違いにより誤って掲載いたしました為全項を取消します。渡辺氏に紙上から深くお詫び申し上げます。(編集部)



二月二十三日、西宮で
行なわれた第四回全日本
学生王座と第十回学生選
拔東西対抗をもって今年度の学
生界はとどおりになく全日程を
終了した。

今シーズンの学生界は、六月
のルーマニアチームの来日で、
現役学生を中心とした東西の五
大学が単独国際試合を開催し得
たことが刺激となつて、活発な
動きが見られ、また、全日本学
生連盟も、ようやく基盤が固ま

り、発展期への第一歩を踏み出
しつつあることも喜ばしい。全
日本学生、王座、東西対抗など
を自主運営し成功をおさめたり
加盟が五十をはるかに越すまで
に成長したのは大収穫であつた。
技術的には、相変わらず東の
芝浦工大、日体大、西の関学、
同大らが他校を一步引放してお
り、特に芝浦工大は昨年に続き
全日本学生（三連覇）全日本綜
合（連覇）と云う二つの全国タ
イトルを獲得したのは驚異的で
あり、一方、関学も春、秋のリ
ীগ戦を勝抜いて通算二十四回
と云う優勝記録を樹てたことも
敬服の他はない。

かし。この東西両豪の
快調には、もち論、絶讃
の辞を送つてやまぬもの
があるが、最近七シーズン、三

年半に亘つて他校が一度もこの二
校の堅実を突き破れないのは、あ
まりにも情ないや云う見方も生ま
れて来よう。他校の対芝浦研究、
対関学研究は盛んではあるが、し
かし芝浦を破り、関学を破るには
もはや芝浦以上、関学以上の猛練
習を積む以外に道がないことは明
らかなことである。その点で、他
校が今シーズン一年を通じて充分
の努力を払つたかどうか。否と答
えたら、それは暴言になるだろう

連覇と云うヨソサマの偉
業をただ見送つている他校
には、残念乍らこうした気
迫が足りない。流行語で云えば、
「根性」の欠じよである。努力な
くしては常勝校打倒は永久に空念
仏に終るだろう。来年こそ、芝浦
を破り、関学を破るチームが出て
来て欲しい。
反則がやたらと多かつたのも今
年の特長(?)だ。明らかに斗志
と粗暴の混同である。トップブー

方学連の組織も強固になりつつあ
り、近い将来、全日本学生選手権
を地方学連の主管で開ける見通し
がついたのは、前途を明るくする
ものであろう。
後に現在の学連の運営は
ほとんど学生の手で運営さ
れている。それはそれで実
に立派なことであり、結構なこと
だがしかし反面それはOBの不協
力と云うことが云えないでもな
い。

学連の基盤ようやく固まる

今シーズンの学生界を顧りみて

ただけでない"芝浦、関学の独走"

か。関西において、同大が今春の
前哨トーナメントで関学を降した
のは記憶に新しい。しかし、同大
はリーグでは関学に遂にストップ
をかけることが出来なかつた。何
故か。関学がこの敗戦に奮起して
猛練習に励んだからである。前哨
トーナメントの首位を得られなか
つたことだけで関学はこのような
奮起を見せ、秋には見違えるばか
りの進歩を遂げた。

ンたる学生界がこれではいけな
い。責任の一端は審判員、指導者
にもあろう。しかし、何より選手
自身の反省こそ必要であり、ハン
ドボール選手である前に学生スポ
ーツマンであることを自覚しな
す必要がある。

学連を育てるものは、ある意味
ではOBの熱意である。各大学の
OBが母校の利益のみにこだわら
ず、大乗的な立場で積極的に学連
に協力したら、より充実した組織
となり強いては学生界の繁栄につ
ながる。

また、そろそろ学生界にも「イ
ンドア」のオフイシャルな大会が
企画されてもよい時期であらう。
(駒沢球治郎)

地方学生界では中京大(東海)
東北学院大(東北、北海道)山口
大(西日本)などが台頭し中央勢
と手合せし実力的にはまだまだ格
段の差があつたと云うものの、地

ビール党の
サッポロビール

SAPPORO
BEER

ルーミアチームの科学的分析

雑誌「オリンピック」から

日本のハンドボール界の今後に大きな示唆

ルーミアチームが帰ったあとで、日本のハンドボール界は直ちに來るべき東京オリンピックへの強化に乗り出した。そして、そのスタートに際してまたとない貴重な研究結果が発表された。日本体育協会東京オリンピック選手強化対策本部発行の雑誌「オリンピック」第三号（十一月一日発行）に載った「日本・ルーミアハンドボール選手の身体計測について」と云う研究発表がそれである。そこで本誌では、発行者の御厚意により、その要約を中心にした特集をここに収めた。

「体重」に格段の差

この調査は横堀（東邦大教授）白井（昭和医大教授）石河（東大助教授）高沢（横浜市大助教授）北村（順天堂大教授）以上五人の専門教授により七月四、五の両日ルーミアチーム十六名、日体大十五名、芝浦工大十四名の計四十五名に対して行なわれた。身体計測を北村利夫順天堂大教授が総括して発表したもので、本誌前号荒川清美氏の調査発表と対照しながら一読されると興味は更に加わらう。

まず、「体格について」（横堀教授）だが、ルーミア選手は平均座高、平均前胸長が、日本選手（芝工大、日体大を指す。以下同）に比して短く、全頭高（頭頂から下顎中央先端までの距離）も小さ

い。また、平均胸囲、頭の最大頂、最大巾も日本選手より著しく大きいと云うことはない。

しかし、体重となると、日本選手の一〇パーセントと云うことになり、大きな差が表はれ、具体的に云うとルーミア選手の平均体重が七七・三Kなのに對し、日体大六三・八K、芝浦工大六四・四Kである。

また、両国選手が何頭身かと云う調査によると、ルーミア選手は最大九・五二頭身から最小七・八二頭身、平均八・四九頭身でこれに對して日本選手は最大八・〇三頭、最小七・〇六頭、平均七・五四頭身と云う結果が出ている。ルーミア選手は、身長の大に比して、比座高が日本人よりはるかに大きい。大きなストライドで、日本のバックスがわり廻されているのもうなずけるわけである。

ル軍持久力の「秘密」

今夏の国際試合のあと、やかましく云はれたのが「スタミナ」と云う問題である。

白井教授の「肺活量、背筋力、血液所見等について」の項から、この問題に觸れてみることにしよう。

一般的にルーミア選手は体格に比して肺活量、背筋力が大きい。これを各ポジションに比較してみると、FWではルーミア選手が五四一四CC、日体大選手が

四三九五CC、芝浦工大選手が四三三四CCと云う結果でルーミア選手が差をつけている。これは持久力がすぐれていることを示し、また背筋力、握力も大である。これらは瞬発力の大きいことを示すことになる。ルーミア選手が全試合時間を殆ど同じ速度で走り抜いていたことや、ここぞと云う時の鮮やかな攻撃ぶりの「秘密」はこうした所にあるのであろう。

バックスについても、同じようなことが云えるが、特にルーミア選手は筋力型で、肺活量、背筋力、握力、瞬発力、持久力、血液所見の劣った水泳選手のような体勢を示し「これは持続型に近い巾厚型でリズムカルな運動に適するが、瞬発力にやや劣ることを示している」ことになる。GKでは、ルーミア選手の体勢はバスケットボール選手に向く持久型に、さらに筋力をつけたようなもので、肺活量が非常に大きく持久力がすぐれている。GKは日体大の方が芝浦工大よりもルーミア選手に近い体勢であった。

さて、次に白井教授は血液所見についての項で日本選手のコンディション調整に関して考慮の必要があるのではと云う疑問を投げかけているのでその一節をそのまま写しておく。

「血液所見は日本選手のみにつ

いて計測したので、ルーミア選手と比較することは出来ないが、日本チームの中では、血色素量でわずかに芝浦工大の方が秀れていた。日本チームの中に一般健康者の平均をかなり下回るようなものが二、三名ずつ見られたことはコンディション調整の上からも考慮すべきことと思はれる」と云うのがそれである。科学的なトレーニングが云々され、また「コンディション」と云うことがやかましく云はれている昨今、これは各チームの指導者にとって傾聴すべきものがあるようだ。

以上を総合してみた時、やはりルーミア選手との体格の型態的の差はどうしようもないものと云うことが出来る。本誌前号巻頭で、高島理事長が述べたように、体格の差を補うには、走りまわり、走り抜くことによつてカバーせざるを得ないのだろうか。そして白井教授も「持久力、瞬発力は訓練によつてこれを向上させることが可能であるので試合運びの上で今一步の押しを要求できよう」と云うように、先天的な体格の差はある程度訓練（練習）によつて向上させる可能性がある」と云う点に、日本のハンドボール界が国際舞台で活躍出来る道が残され、そして開けていくと云うことが出来る。「体格の差は猛練習で」と云うことである。

柔軟性に富む日本

さて、石河助教のテーマは、「体力測定について」であった。これは色々な「実験」によって柔軟性、跳力などをテストしたもので、これまた興味深いデータが並んでいる。例えば、「前屈柔軟度」(膝をのびしたまま上体を前屈し指先が足底の線より下にとどけば(一)達しない場合を(十)にして、測定を行うもので二回試行のうち、最大値を採る)では、(十)を示すものはルーミアニア二十一パーセント、日本十四パーセントで、平均値でみると日本九・四三糧、ルーミアニア三・〇七糧で、この結果からは日本チームの方が柔軟性に富むと云えよう。

ルーミアニア戦後、盛んに「日本戦法」が云はれるが、こころあたり「日本戦法」のカギとなるべきものがあるのではないだろうか。ただ問題は、日本チームはGK、FW、HBの順に柔軟性が大で、ルーミアニアはFW、GK、バックスの順であったことと、ルーミアニアはその差がそう変りなかつたのに反し、日本チームはその差が、かなり大きいと云うことである。

次に「垂直跳」の結果を見よう。ルーミアニアは全平均値五・六・七三糧、日本は全平均値五三・八一糧と、ルーミアニアの方が約三糧平均値が大であった。ただ、こ

で刮目すべきは、芝浦工大の選手で最大値が六六・六糧とルーミアニア選手の最大値六五・六をしのいでいたことで、全平均値でも芝浦工大は五五・七二糧と、ルーミアニアの五六・七三糧に近い数字を見せていることである。

国内に於いて、芝浦工大が無敵の名を欲しいままにしている一つの「裏付け」でもあり興味深い。ポジション別には日本、ルーミアニアともGK、HB、FWの順だった。

ル軍をしのご芝浦工大

石河助教は、さらに身体の敏捷性を表わす示標の一つとして、「サイド・ステップ」テストを行なっている。これは床に一米二十

糧間隔に三本の平行線を引き、中央の線から始めて、出来るだけ早くサイド・ステップを行ない(常に両足で線をまたぐようにする)十秒間に行ないえたステップ数を記録するもので、日本の諸チームでも実験されてきた面白い。結果は日本、ルーミアニアともに十秒間十七回(詳しくは日本十七・〇ルーミアニア十六・九)で差がない。石河助教によれば、この値は先般来日したドイツ陸上チームやドイツアイスホッケーチームに

比し多少すぐれた値だそうである。ポジション別には、日本、ルーミアニアともにGKが最もよく、特にルーミアニアチームのGKは平均十八・五回で非常に敏捷性に富んでいると云うことである。

なお、ここでも芝浦工大はその平均値においてルーミアニアを僅少差ながらしのぎ、日体大より一回多い値を示し、三チームの中で最も敏捷性の高いチームであることが立証された。芝浦工大がその最終戦において17対16と云う大熱戦を展開し得たのも、その気力もさることながら、実力的にも、立派に国際水準の上位を行くことが判ったわけである。

結局、運動能力と云う点から見れば柔軟性では日本、垂直跳びはルーミアニア、サイドステップにおいてはほぼ等しい成績を示したことになる。特に、前に述べたように芝浦工大はルーミアニアとほとんど等しい力を示し、ある面ではルーミアニアをしのごもさえて持っていたわけである。芝浦工大と云う一単独チームが、例え机上のデータにせよ、国際最上位のチームに優るものを持っていると云うことは、日本のハンドボール界の前途を非常に明るくするものであるし、同時に芝浦工大の優秀性を改めて認識させられるものである。

ヒケとらぬ日本チーム

このほか、北村教授による心電図、血圧などの調査があるが、残念ながら限られた紙数のため、これは後時にゆずりたい。

結論としてこうしてみると、日本のハンドボールチーム(界)と云うものが、決して外国チームに劣っていないことが判るし、東京オリンピック強化専門委員に推せんされている荒川清美氏が、平常云っているように、「体格の差をいつまでも云っているのは、絶対に外国チームに勝てない。科学的な裏づけによって体力や体格などの基本的な問題を充分解明して、それによって日本チームなり

ハンドボール選手の身体計測

(白井昭と医大教授)

ポジション	ルーミアニア選手			日体大選手			芝浦工大選手			ルーミアニア全選手	日体大全選手	芝浦工大全選手
	FW	B	GK	FW	B	GK	FW	B	GK	平均	平均	平均
年身体	24	25	28	20	21	21	21	21	22	24	20	21
胸	178.9	176.9	187.4	168.8	167.5	172.9	166.4	169.1	170.7	179.2	168.9	168.0
坐	74.4	80.2	81.0	62.3	63.9	69.3	63.1	66.2	64.2	77.6	63.8	64.4
上	96.1	98.9	97.4	89.2	89.4	94.6	89.7	91.2	89.4	97.4	91.3	90.2
腕活筋力	94.9	93.9	98.1	92.9	92.2	95.9	93.1	93.3	92.8	94.9	93.1	93.2
	29.5	30.5	29.4	26.9	27.6	28.4	27.0	27.6	27.8	29.9	27.3	27.3
肺活量	33.1	34.0	32.4	29.9	30.3	32.5	30.0	30.8	29.8	33.4	30.4	30.3
	5414	5590	6860	4395	4640	4960	4334	4508	2820	5677	4552	4466
背握	189.3	196.2	202.5	156.3	157.0	180.0	172.1	157.0	155.0	193.8	159.7	164.3
	47.6	53.1	57.3	45.2	41.3	48.0	46.6	42.2	41.3	58.4	44.3	45.0
力	56.8	59.0	62.3	52.1	45.9	59.3	51.8	48.7	48.5	51.1	44.3	50.2
	52.2	56.2	59.8	48.6	43.6	53.7	50.0	45.5	44.4	54.8	44.7	47.6

(血液所見による結果表・省略)

雑誌「オリンピア」56頁より

地方だより

関東選手権大会

第七回関東選手権大会は九月十七、十八の両日東京都駒沢ハンドボール場で関東八県（山梨を含む）四部門三十一チームを集めて行なわれた。

▽高校女子準決勝

北海道 1 (3) 5 1 4 6 熊谷商工
 (茨城) 8 (3) 1 2 2 (埼玉)
 栃木女高 8 (4) 1 2 5 桜水商
 (栃木) (4) 1 3 (東京)
 △決勝

栃木女高 5 (2) 1 0 1 北海道 1 (3) 1 1
 △高校男子対抗戦一回戦勝者 神代高 (東京) 富岡高 (群馬) 鎌倉学園 (神奈川) 水戸高 (茨城)
 △同ベスト6決定上位戦

神代高 12 1 8 富岡高
 水戸高 12 1 11 鎌倉学園
 △同中位戦

富岡高 9 1 6 栃木足利高
 鎌倉学園 9 1 8 山梨塩山高
 △同下位戦

埼玉大宮高 15 1 7 千葉佐原一
 塩山高 16 1 11 足利高
 以上の結果、神代、水戸、富岡、鎌倉学園、大宮、塩山の六校がベスト6となった。

▽一般女子準決勝
 梨窓ク 6 (3) 3 1 2 4 全神奈川
 (山梨) (3) 1 2

日体大 7 (0) 0 1 1 6 全茨城
 (東京) (2) 0 1 1 4 0

▽同決勝
 日体大 9 (3) 6 1 1 2 梨窓ク
 △一般男子準決勝

桐生ク 11 (5) 5 1 3 9 全神奈川
 (群馬) (6) 1 6 3

大崎電気 20 (8) 12 1 4 6 全茨城
 (東京) (2) 1 2 4 6

▽同決勝
 大崎電気 20 (9) 11 1 3 9 桐生ク
 (1) 1 6 3

一般(男) 全仙台 (女) 涌谷OG

第十三回東北選手権大会は九月十、十一の両日、山形市で東北六県四部門十九チームを集めて行なわれた。

▽高校女子準決勝
 和洋女高 6 (4) 2 1 3 4 古川女高
 (秋田) (4) 2 1 3 4 (宮城)

涌谷高 13 (8) 5 1 5 7 花巻南高
 (宮城) (8) 5 1 5 7 (岩手)

▽同決勝
 涌谷高 19 (14) 1 2 2 4 和洋女高
 (5) 1 2 2 4

この結果、涌谷高の十三連覇。
 △高校男子予選Aプール
 安積高 16 1 10 仙台一高
 (福島) (宮城)

盛岡一高 18 1 8 安積高
 (岩手) 18 1 5 仙台二高

▽同Bプール
 山形東高 7 1 3 湯沢高
 (山形) (7) 1 3 湯沢高

湯沢高 11 1 4 青森高
 (青森) 11 1 4 青森高

▽同決勝
 盛岡一高 16 (10) 6 1 0 2 山形東高
 (1) 0 2 2

▽一般女子決勝(参加二チーム)
 涌谷高OG 14 (7) 7 1 1 2 盛岡クラ
 (宮城) (7) 7 1 1 2 盛岡クラ

▽一般男子準決勝
 全仙台 25 (11) 14 1 2 6 湯沢クラ
 (宮城) (11) 14 1 2 6 湯沢クラ

白亜クラ 21 (15) 6 1 0 5 15 青森クラ
 (岩手) (15) 6 1 0 5 15 青森クラ

東海は愛知勢独占

第七回東海選手権は九月十七、十八の両日静岡県富士市で東海四県四部門二十三チームを集めて行なわれた。

▽高校女子準決勝
 半田高 17 (9) 8 1 0 5 大垣南高
 (愛知) (9) 8 1 0 5 大垣南高

清水商 8 (4) 4 1 1 2 稲沢高
 (静岡) (4) 4 1 1 2 稲沢高

▽同三位決定戦
 大垣南高 8 1 4 稲沢高
 △同決勝
 半田高 9 (4) 5 1 3 4 清水商
 (4) 5 1 3 4 清水商

▽高校男子準決勝
 桜台高 12 (7) 1 5 6 清水東高
 (愛知) (7) 1 5 6 清水東高

中京商 10 (5) 1 2 4 清水商
 (愛知) (5) 1 2 4 清水商

▽同三位決定戦
 清水商 12 1 7 清水東高
 △同決勝
 桜台高 9 (4) 2 1 3 8 中京商
 (4) 2 1 3 8 中京商

昨年来、高校公式戦で不敗を続け、全日本高校二連覇の中京商にとって、この敗戦は二年ぶりのものだった。桜台高の勝因はGK渡辺を中心としたディフェンス陣の健斗にあり、高校界最高を征く二校の激突らしい好試合だった。

▽一般女子リーグ
 愛知紡績 38 1 2 白梅クラブ
 (愛知) (38) 1 2 白梅クラブ

愛知紡績のあげた38点は、女子が七人制に統一されてから、おそらく公式大会における全国最高得点かと思われる。

静岡城北ク 13 1 1 白梅クラブ
 (静岡) (13) 1 1 白梅クラブ

愛知紡績 14 1 2 静岡城北ク
 (順位) ①愛知紡績2勝 ②静岡城北ク1勝1敗 ③岐阜白梅ク2敗

▽一般男子準決勝
 桜丘会 15 (7) 1 4 11 清水商ク
 (愛知) (7) 1 4 11 清水商ク

鶴森ク 17 (9) 1 7 16 全岐阜大
 (三重) (9) 1 7 16 全岐阜大

▽同三位決定戦
 清水商ク 18 1 9 全岐阜大

▽同決勝
 桜丘会 20 (12) 8 1 0 4 鶴森ク
 (12) 8 1 0 4 鶴森ク

近畿大に神戸大優勝
 第七回近畿地区大学総合体育大会ハンドボール競技は九月四、五日の両日徹夜高球技場で行なわれ、準決勝で関西春の四位校京大を破った神戸大が決勝で甲南を降し優勝した。

▽準決勝
 神大 11 1 9 京大
 甲南大 9 1 5 大阪学芸大

▽決勝
 神大 10 1 8 甲南大

早大、関学・慶応を連破
 二つの伝統定期戦

第18回早慶定期戦は九月九日午後七時三十分から東京の国立競技場でナイトゲームとして行なわれた。この定期戦がナイターで行なわれるようになって三年目、観衆も五千を数え、盛況だった。

▽第二回高校戦(早高学院2勝)
 早大学院 17 1 6 慶応高

▽第八回OB戦(三田ク4勝1敗2分)
 三田ク 18 1 11 稲門ク
 (慶) (18) 1 11 稲門ク

▽現役戦(早大3勝、慶大5勝)
 早大 17 1 12 慶大

伝統を誇る第15回早大対関学定期戦は九月十八日、東京の小石川グラウンドでOB戦に引きつづき

【大塚】兄井本川保藤訪 本田内中壁出
 【大塚】大塚橋岸高須誠 辻野河白体
 GK FB HB FW 交代 審判
 【保村】保村沢岡木谷塚田尾沢坂口荒
 【早久】早久竹西北森荒恵平吉中長塩山(主)審判
 【関西】関西NO1の
 関学に対して一歩も引かずRW恵
 谷が10点を叩き出す活躍で、追
 すがる関学を振り切り、昭和28年
 以来七シーズンぶりの勝利をあげ
 た。

▽OB親善試合
 関学ク 13-13 稲門ク
 引分け

▽現役戦(早大4勝、関学11勝)
 早大 13-12 関学

【早久】保沢口村沢木谷塚田岡沢坂谷出
 【早久】早久西山竹北荒恵平吉森長塩波
 GK FB HB FW 交代 審判
 【河原】河原淵浦部田田向倉地井山部荒
 【関小】関小藤山中安村山日十宮藤香服(主)審判

【早久】早久西山竹北荒恵平吉森長塩波
 GK FB HB FW 交代 審判
 【河原】河原淵浦部田田向倉地井山部荒
 【関小】関小藤山中安村山日十宮藤香服(主)審判

新人戦でも桜台勝つ

十一月十二日名古屋で行われた
 愛知県高校新人大会名古屋予選の
 決勝戦で顔を合わせた中京商と桜
 台高は15-9(前半桜台8-3)
 で桜台高校が勝った。

岐阜県ハンドボール選手権大会
 は十一月二十七日岐阜北高グラウ
 ンドに一般、大学、高校男女十六
 チームが参加して行なわれたが男
 子は岐阜大、女子は大垣が優勝を
 飾った。

話題のチーム④

山形東高の巻

この学校には正式のハンド・ボ
 ール部というものはない。山形県
 の総合体育大会の参加種目をそら
 えるために、毎年大会一カ月前の
 五月ごろ有志が集ってチームを編
 成する。現在の部員は十一人のレ
 ギュラーに補欠が二人でギリギリ
 いっぱい。正式の部ではないから
 練習も、部員負担がかかることを
 さげ「総合体育大会」と「国体予



後輩の活躍を待つ原田主将

速成チームのため、個人プレー
 になりやすい欠点がある。熊本国
 体に出かけた峰屋教諭は「フオー
 ードが弱く攻撃力にとほしいが、
 バックスは他チームと比べてヒケ
 を取らなかつた」と評している。
 十一人のレギュラーが全部三年生
 で二年生は二人しかいない。主将
 の原田君は「国体出場で、学校も
 見直してくれたようだ。来年はも
 つと部員が集まるでしょう」と後
 輩の活躍に期待している。

選々の前に一カ月ほどやるだけ。
 だからこの「弱体チーム」が国
 体の東北代表になったとき、一番
 驚いたのは選手自身だった。県内
 には寒河江(さがえ)高校しかな
 く、「国体のあとに東根(ひがし
 ね)高校にもチームが出来た」東
 北予選でもクジ運に恵まれたのが
 幸いした。

新三菱(男)、愛知紡(女)優勝

初の実業 名古屋で「愛知選手権」開く

全国初の実業団対抗大会として
 注目を集めた第一回愛知県実業団
 ハンドボール選手権大会(七人
 制)は七月廿四日、中部日本新聞
 社後援で、快晴の半田市愛知紡績
 グラウンドで行なわれた。

▽男子決勝(主審 林藤吉氏(日
 体OB))
 新三菱重工 12(4-2)6 東洋レ
 ムだが、かえってこれがわざわい
 して、キャリアに一日の長ある新
 三菱に破れた。前半東レの果敢な
 アタックは新三菱のFWをよくお
 さえ、後半開始し1分には七米投
 で3-4と迫るなど健闘したが、
 そのあと徒らにロングシュート
 を放つてかえって相手に攻撃機会を
 与えたのは拙かった。新三菱は出
 足こそ鋭さがなかったが、後半よ
 うやくパスワークが整い、後半20
 分10-4と開いて大勢を決めた。

明大、慶大に四連勝

第十四回慶大対明大ハンドボー
 ル定期戦は十一月二十日午後一時
 から慶大日吉グラウンドで行なわ
 れ、OB戦は三田ク、現役戦は明
 大が秋季リーグ戦の雪じよくを逐
 げると共に、この定期戦に四連
 勝、対戦成績は明大の八勝六敗と
 なった。

▽OB戦 三田ク15-13駿台ク
 △現役戦

明大 14(8-4)5 慶大

愛知紡績 17(8-1)3 東洋レ
 ム

チャンピオン愛知紡の前には、
 気鋭の東レも歯が立たなかった。

しかし、東レは原監督以下、全員

問 一九四〇年、東京で開かれる予定だった第十二回オリンピック大会の時は、ハンドボールは開催種目に入っていましたか。(福岡・T生・高校生)

答 加えられていました。第十二回大会が東京で開催が決まった頃は、我国ではスポーツとしてのハンドボールが芽生えてはいませんでしたが、当時の体協関係者の意見として「将来、普及向上の可能性ある競技」と云うことで加えられ陸連関係者で研究と準備が進められました。昭和十三年、協会の発足と共に、国内におけるオリンピック対策はさらに具体化し、オリンピック候補選手の選考も行われたほどでした。

問 現在、行なわれている東西対抗は学生部門だけでしょうか。一般部門その他の復活は考えられますか。(神奈川、神谷 弘)

答 東西対抗は現在では学生(男子)の部のみしか行われておりません。その他の部門の復活は今のところ具体的な動きがないようです。「室内」の東西対抗については考えられてよい時期でしょう。

質 問 欄

問 来年三月、ドイツで世界男子七人制選手権大会が開かれるそうですが、こうした場合、主管者は東西ドイツが合体して、その任にあたるのでしょうか。(兵庫・蔵前善三郎)

答 お問合せの大会は、ドイツ連邦共和国(西独)ハンドボール連盟が主催することになっていきます。なお、余談になりますが、オリンピック東京大会のハンドボール競技には、ドイツは東、西別に参加の意志が表明されています。

問 ルールの中で「ボールはあまりかくく空気がつめてあってはいけない」と云う規定があるそうですが、本当でしょうか。理由は?(東京・一中学生)

答 ルール第二条第一項に成文化されています。今年競技規則書(協会発行)七頁にはこの項の注釈として「あまり空気を詰めてはいけない」と云うのは危険防止のためであってあまり堅すぎて危険にならないようにとの意味で、指で押せば窪んだら、バウンドも満足にしないような軟かさは適当でない」と示されています。

お詫び 先号当欄「昨年度世界選手権参加予定日本FW」の解答中、「近藤金博(芝工大OB)」が脱落していました。

質問かんげい

読者兄弟の質問を歓迎します。ハンドボールに関することなら技術問題、記録なんでも結構です。宛先は住所、氏名(匿名可)、年令明記の上、ハガキで東京都千代田区神田駿河台、日本ハンドボール協会内機関誌編集部 質疑応答係まで。

欄

書

投

五輪開催に 全国的運動を

東京オリンピックでのハンドボール開催は、貴誌の解説によると、はなはだ不安を感じさせるものがあり、また一般スポーツ紙などでは、はつきり削減予想種目としてハンドボールの名を明記しておりますが、我々ハンドボールに関心と愛着を持っている者にとつてこれほど残念な話はありません。聞けば、その採否は来年五月の国際オリンピック委員会が決まるそうですが、この期にあたって、残る半年間に全国のハンドボール競技者、関係者一丸となった全国的運動を展開すべきであると考え、ハンドボール界が、どれだけオリンピック種目としての採用を熱望しているかを、表面的に示す必要が絶対あると考えます。例えば、署名運動をやるとか、体協関係者を交えた公聴会をやるとかして、どうしても開催実現に力を注ぐべき最終段階に突入していると思えます。トトカルチョ形式のスポーツくじが世論に押されて実現が難しい現状では、国内の動きとしても経費を安上りにするため、当然、種目の制限が考えられて来ましょう。そうすると、残念ですが、ハンドボールは過去のオリンピック大会で一度しか行なわれていないと云う不利が祟って来ます。どうか、全国ハンドボール競技者の皆さん、我々全国の競技者の力で東京オリンピックにハンドボールを加えようではありませんか。

か。協会首脳陣の具体的教示を切望します。(大阪・関心寄世男)

団体切手にハンドボールを

第十五回団体が熊本で開かれましたがその記念切手にまじしても「ハンドボール」が採りあげられていないのは失望しました。ほとんどの競技がすでに団体記念切手の図案になっていると云うのに「ハンドボール」が、十五回を数える大会を通じて未だ一度も使われていない不合理は、なにか特別の理由でもあるのでしょうか。ハンドボールは日本ではマイナー・スポーツだとよく云われますが、こんな所にも影響するのでしょうか。協会関係者は、ハンドボールのPRと云うことに、もう少し積極的であるべきではないかと考えます。(兵庫・石倉貞雄・高校生)

全日体の決勝欠場は二回

貴紙三号十三頁前段に掲載されておりました「全日本総合観戦記」中に全日体大が全日本総合の決勝戦に出場しないのは大会始まって以来とありますが、実は昭和三十年度、明石で行なわれました第七回大会にて、全日体大は、準決で教育大Aに10-5で破れ決勝戦は西日本日体OB対教育大で行ない、西日本日体OBが優勝した記録があり、全日体大が決勝戦に進出出来ないのは二度目ではないかと思えますが如何でしょうか。(福岡・小袋是郎)

お詫び 御指摘のとおりでした(係)

今年のフィールドシーズンも開もなく閉幕である。今年、六月にルーマニアチームの来日などあり、話題豊富なシーズンだったが、斯界の発展とともに全国大会や地方プロットの大会が必然的に増えそうした大会の運営やスケジュール(日程)について再検討すべきだと云う声が上がってきたのは注目すべきであらう。この問題の最大点は、現行では七、八月に全国大会を懸けた大会が集中しすぎると云うことで、大会開催を各月に分散させるべきだと云う要望が強い。

因みに、今年の例では七、八月の二ヶ月間に全日本学生(東京)全日本高校(岡山)、全日本総合(秋田)全日本教職員(東京)と四つの大会が行われ、しかも、各地方プロットの団体予選を兼ねた

ニュース

新聞記事から

国際ハンドボール連盟の規約によると「国際試合を行なった場合は、一試合につき最低五十フラン(四千二百円)を払い、こまなくてはならない」ことになっている。ところで日本ハンドボール協会では、ローマ・オリンピック前にルーマニア・チ

選手権大会がほとんど九月上旬に行われていると云う実情である。

愛知県協会常任理事宇津野年一氏は「たしかに、七、八月に全国大会が集中するのはまずい。日程がつまりすぎていて参加が困難だと云うのでは斯界にとつてもマイナスだろう」と云う。しかし協会側は「全日本学生、全日本高校、全日本教職員の三つは性質上、暑

今月の問題

内容的充実へ脱皮を!

七・八月に集中する全国大会

大会運営に再検討の時期

中休暇を利用しなければならぬから動かさない」と云い、学連でも「全日本学生は初夏以外にな

Mを招いて日本で十試合を行ったが赤字続き。そこで「試合料」の納入を勘弁して欲しいと国際連盟に泣きついていたが、十九日、H・パーマン会長(スイス)から「あの試合はオフショナルなナショナルゲームにしないで、おおくから「試合料」を納入しなくてもよい」という返事がとどいた。(日刊スポーツ東京、十月二十一日付あ・ら・かると欄より)

国際ハンドボール連盟広報第22

× × ×

い。秋は王座戦もあるし時日がな

集中はまずい。しかし三大大会は動かさないことになり、考慮の余地があるのは全日本総合だけと云うことになる。昭和二十九年度の第六回大会が十一月平塚で行われた以外、ここ数年この大会は八月開催が慣例化しているが特別な理由と云えば、教職員の多い公認審判員

の動員が八月の方が楽だからである。しかし「フィールドシーズンの総まとめの意味でも十一月の

号に、先のルーマニア対全芝工大戦(七月三日、東京小石川)の記事が載せられており、その17対16と云うスコアに対して同報は、「一九六四年の東京オリンピックの時、ヨーロッパチームに充分対抗するため、日本が行なった努力がすでに実って来ていることが、これでよく判る」と云う観測を下している。

方がよいのではないか」と云う声もあり、この点に研究の余地が残されている。

問題は十一月に変えると、国体(十月)と近づきすぎてしまうことになり、十一月の末までフィールドのメエインイベントを伸ばすとインドアの鍛錬期間が短くなることだ。なかなか、一朝一夕によい

案が生れにくい問題である。と云うので、全国大会の運営に対する注文はその開(会)ばかりではない。大阪協会理事長の馬場太郎氏は「全日本総合は当分(とり

あえず東京オリンピックの前年頃まで)東京で開催すべきではないか」と云う意見を持っている。担当記者の間でも、「最近の全日本は参加チームが地域的に偏向しすぎる」と云う批判があり、確かに地方持廻りの開催だと参加チームが北に寄りすぎたり、南に寄りすぎたりして、全国各地から平均して強チームが参集するとは云えない。その原因は、前述の大会日程の集中、そのオープン制度(予選

なしの自由参加)に負うところが大きい。特にオープン制度は、参加のワクがないため自由に参加出来る利点はあるが、必ずしも出なければと云う「魅力」や「権威」がうすいのも否めない。だから、協会某氏が云うように「開催場所が何処であろうと出たいチームは出るし、出ないチームは近くても見送ろう」と云うことになる。そう

した幣を少しでも無くすために、予選、推薦制度の検討と、中央開催(東京、関西、東海)の問題は一考されてよいものがあるようだ。また、グラウンドの問題も地方会場では切離せない。地方にはよいグラウンドが少ないと云うことも、中央チームの地方敬遠の一因ではなからうか。話はとどろがグラウンドの問題に関連して宇津野氏は「八月開催の大会では競技場を例えれば高校男子では百米×六十米を理想と考える」と云っている。

ともあれ、これまでのハンドボール界は、競技の普及を主目的にしたため、ともすれば大会の運営もそうしたことが第一義的に考えられて来たが、今後は、そうした面よりも、むしろ内容的な充実が優先されて然るべきであり、また必ずやそうならなくてはなるまい。

内容的な充実とは大会の運営、技術問題ばかりではなく、大会役員の構成、審判団の充実等をも含めた広義なものである。

協 会 だ り よ

東京オリンピック強化対策の一環として日本ハンドボール協会は先にルーマニアチームを迎えて各地で試合を行い多くの収かくをえました。又一九六一年三月に行われる男子室内ハンドボール選手権大会に参加する事が決定しております。これら海外チームと対戦することは勿論大切な事であるが一方国内における選手強化対策も日本ハンドボール界に課せられた大きな問題であります。

今号では、日本ハンドボール協会の東京オリンピック選手強化対策を御紹介致します。

東京オリンピック選手強化四カ年計画(案)

- 昭和36年度より昭和39年度までの4カ年間を二期に分け、昭和36、37年度を前半期昭和38、39年度を後半期とし強化策を計る。前半期2カ年を準備強化期とし、後半期2カ年を本格的強化期とする。
- ◇前半期2カ年の準備強化策として
- a 指導者の組織を確立し、指導力の強化を計る。
 - b 競技人口を増やすと共に、有望選手の発掘に努める。
 - c トレーニングの研究並びに方法の確立を期す。
 - d 年間の競技日程をオリンピック大会の時期を「ヤマ」となるように編成替えをする。
 - e 候補選手の強化合宿練習。

- ◇後半期2カ年の本格的強化策として
- a オリンピック大会のコーチ陣を編成して全責任を負わせる。
 - b 候補選手を一定の範囲にしぼり重点的指導を行なう。
 - c 国際試合の回数を増し、多くの試合経験を積ませる。
 - d 外国コーチの招聘。
- 一 準備強化期における指導者組織の確立
- △東京オリンピック選手強化対策委員会(仮称)を設ける。
- △委員は全国各都道府県より一名を推薦し全国高体連より若干名推薦する。全国学生連盟に加盟している各大学の監督が委員となる。
- △委員会は本部委員会と常任委員会を設ける。
- △常任委員会は各ブロックより一名の常任委員が推薦され、高体連より二名の常任委員を推薦し、大学の監督より東西二名の常任委員を推薦し、それを以って編成されたものとする。
- 二 指導力の強化策として
- 冬期トレーニングに入 会議を開き次の様なる前シーズンに入る前)な問題を討議する
- ①世界の競技の情勢
 - ②トレーニングの目標とトレーニング法。
 - ③技術の諸問題
 - ④スポーツの栄養、医学、心理等について
 - ⑤知識と経験の交換を行なう。
- 三 競技人口を増やすこと有望選手の発掘について
- ①県内の試合を増し、人口と共に有望選手の発掘に努める。
 - ②講習会の開催をする。(以下最下段に)

編集後記に代えて

月に創刊号を出す前、ともかく四回出そうと云うのが、高島理事長との約束だった。そして、軌道にのるまで共同通信社運動部の徳尾武治さん、デリースポーツ東京本社運動部の小川励行さん、それに僕が原稿面の責任を持つと云うことになった。どんな雑誌にどんな原稿を書いたらよいか判らないと云うのは、ムダな日数がかさむばかりなので、こうなつたとも云えるがそれより何よりこんな雑誌があると云うことを知らずのが最大の目的だった。今、第四号の与えられた紙数を色々の所から集めて来た原稿で埋め終つて、これで僕らも一応の責任は全うしたいと一服しているところである。

(お) かげ様で、悪口もあつたが、おおら続刊出来る見通しがついた。結構なことである。ただ、来年は今年より辛い、今年は一寸したミスがあつても「まだ、出たばかりだから」と大目に見ていただいたことが許されなくなるから。それに内容的にも徐々に変わっていかねばなるまい。全三十二頁のうち二十頁はハンドボール技術(レベル)の向上に役立つもので埋めるべきだろう。そして残りをニュースや解説、記録、読物にするのが理想である。水俣の国体で荒川清美先生に「オリンピックの選手強化コーチになられたなら、大いに雑誌を利用して下さい」と云つた約束も果たさねばならぬだろう。

- (執) 筆者が片寄りすぎると云う声が大きかつた。確かである。しかし、それは前述のような理由で、ともかくこうゆう雑誌があると云うことを知つていただくために、手近かな方々に御寄稿つて紙面を埋めていたからである。つまり、今までは「普及版」であつたわけだ。来年からは、色々の立場から、色々の人が、色々の原稿を書いて下さるようこの場から改めてお願いしておこう。もちろん、これまで御多忙の中をさいて御寄稿願つた方々も含めてである。
- (と) ところで、一応僕達も四冊と云う責任冊数を出したところで表面から退陣しようと思ふ。諸者の皆さんと同じように僕らもハンドボールが好きだ。だから、まるつきりこの雑誌から離れるのは正直のところさびしい。編集のさいはいを協会に御返してお役に立つなら原稿だけを書きたいと思ふ。つまり「普及版」の使命は終つたと云う自信と時期を感じたからである。
- 協会の人、協会の立場に立つて編集するのが、この雑誌の本来の行く道であり、またそうなつてこそ、この雑誌はいつまでも、皆さんの支持を得つづけるのだと思ふ。(十一月一日) 〓 筆者は杉山茂
- 「上段よりつづく」
- 四 トレーニングの研究と方法について
 - ①基礎体力の養成
 - ②冬期トレーニングにしても(前期鍛錬期後期鍛錬期)等に分けて行なうとか。
 - ③試合シーズン期に分けての研究
 - ④トレーニングにしてもトレーニングの方法について
 - 五 強化合宿の日程、場所等に就いての研究をする。

日本ハンドボール協会公認・昭和35年度公式試合球

新製品

皮革18枚貼製

日本ハンドボール協会公認球



ミカサボール

製造元 明星ゴム工業 K.K.・総発売元 K.K.三矢本社

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る
セフター

SCEPTRE

サービス部

新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341) 2979・1016



望月運動用品 K K

東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746・0858

比類なき耐久力

最高の品質を誇る ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球



ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592

日本ハンドボール協会公認球

ピーコック印ボール



革貼と縫いの

ピーコックハンドと御指定下さい

前田運動具製作所

東京・江東区大島町5-538

TEL (681) 9197・9198

Osaki

高性能・高確度を誇る
広範囲および精密級

積算電力計

営業品目

計器用変成器

標準用計器用変成器

誘導型自動電圧調整器

静止型自動電圧調整器

積算電力計交流試験台

配電電盤・制御盤

Sブレーカー・ノーヒューズブレーカー

配電線事故捜査器

絶縁油耐圧試験用変圧器



大崎電氣工業株式會社

本社・五反田工場 東京都品川区五反田 1-263 電話白金(441)2111(代表)
蒲田工場 東京都大田区原町 10 電話蒲田(731)4013-5, 3222

Osaki

ハンドボール
第一卷第四号

昭和三十五年十二月五日印刷

編集兼発行人宮沢宏之

発行所

日本スポーツ新聞社

電話代表一四一〇四番

定価五十円◎八円